

(様式第10)

東北病医 第 589 号

令和 5 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人 東北大学

総長 大野 英男

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
氏名	国立大学法人 東北大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東北大学病院
--------

3 所在の場所

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
電話(022)717-7000

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
上記のほか、腎臓・内分泌内科、糖尿病・代謝内科、漢方内科、老年内科、心療内科、腫瘍内科、脳神経内科において医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
上記のほか、肝臓・胆のう・膵臓外科、胃腸外科、移植・食道・血管外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、小児腫瘍外科、頭頸部外科において医療を提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科	3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	2	0	0	1,118	1,160

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	386	227	601.9
歯科医師	96	71	156.2
薬剤師	95	1	95.7
保健師	0	0	0
助産師	56	0	56
看護師	1235	25	1252.3
准看護師	0	1	1
歯科衛生士	10	14	22.5
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	176
理学療法士	27
作業療法士	10
視能訓練士	16
義肢装具士	0
臨床工学士	28
栄養士	0
歯科技工士	10
診療放射線技師	73

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	118
	衛生検査技師	2
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	29	
その他の技術員	198	
事務職員	419	
その他の職員	124	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	99	眼科専門医	15
外科専門医	86	耳鼻咽喉科専門医	23
精神科専門医	9	放射線科専門医	47
小児科専門医	40	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	13	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	30
産婦人科専門医	45	救急科専門医	15
		合計	457

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 富永 悌二 ) 任年月日 平成 31 年 4 月 1 日

医療安全管理責任者(医療安全担当の副病院長)を平成28年4月1日から平成31年3月31日まで務め、医療安全監査委員会への対応、特定機能病院間のピアレビューの実施、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理センター長業務、医療安全推進委員会や内部通報受付審査会等の業務等、医療に係る安全管理の業務に従事した。また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	768.1 人	24.2 人	792.3 人
1日当たり平均外来患者数	2533.7 人	582.1 人	3115.8 人
1日当たり平均調剤数			1279.4 剤
必要医師数			223 人
必要歯科医師数			23 人
必要薬剤師数			27 人
必要(准)看護師数			506 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	377.08 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数	18 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積	402 ㎡	病床数	25 床		
	[移動式の場合] 台数	0 台				
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積	251 ㎡				
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	705 ㎡	鉄骨造	(主な設備)	生化学・免疫検査装置		
細菌検査室	334 ㎡	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備)	クリーンベンチ		
病理検査室	492 ㎡	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット		
病理解剖室	106 ㎡	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備)	解剖台		
研究室	7453 ㎡	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備)	顕微鏡		
講義室	373 ㎡	鉄筋 コンクリート造	室数	2 室	収容定員	362 人
図書室	4476 ㎡	鉄筋 コンクリート造	室数	4 室	蔵書数	41万 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	69.2 %	逆紹介率	75.4 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数		22,050 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		25,464 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,318 人
	D: 初診の患者の数		33,764 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払 基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
阿部 玲子	東北公済病院看護部		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 裕一	弁護士法人 杜協同法律事務所		法律に関する識見を有 する者	無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	





## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	539
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	82
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	100
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やニューイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常(転座)の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とつたわれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	61
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	25
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破碎する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	230
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィー	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	660
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	15
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	158
当該医療技術の概要			
強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			



医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	24
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	26
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	16
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	54
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			
医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	70
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	42
当該医療技術の概要			
胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	成人症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療	取扱患者数	47
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、歯科矯正用アンカースクリューを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動が可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	52
当該医療技術の概要			
歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			

医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	486
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去(抜歯等)、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	86
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能肺癌に対する術前化学療法	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 切除可能肺癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	26
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能肺癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 切除不能と診断される肺癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度で抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。			
医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	110
当該医療技術の概要 甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。			
医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	66
当該医療技術の概要 急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	18
当該医療技術の概要 血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。			
医療技術名	エンドキシン吸着	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 エンドキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。			
医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS・VA-ECMO)	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。			
医療技術名	体外膜型酸素化装置(VV-ECMO)	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。			

医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。			
医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	70
当該医療技術の概要 食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嘔声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。			
医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。			
医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル(3-7L程度)体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。			
医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。			
医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 肝門部領域に発生した癌の切除には、局所の解剖の熟知や肝機能、残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある。また、肝動脈、門脈などの再建が必要となる事も多く、術前、術中、術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し、切除の可能性が五分五分となるような、切除境界例が多く存在する。このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と、術中の局所の所見により判断され、安全に、かつ根治的に切除を行い、術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。			
医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	33
当該医療技術の概要 食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。			
医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	22
当該医療技術の概要 顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。			
医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し、術後早期回復が期待できる治療である。			

医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術＋十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが、我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており、糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少＋糖尿病改善効果を認める有望な治療法である。			
医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。			
医療技術名	慢性血拴塞性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	68
当該医療技術の概要 慢性血拴塞性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。			
医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	61
当該医療技術の概要 循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。			
医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	189
当該医療技術の概要 心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO、Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。			
医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 胃癌組織（パラフィンブロック）を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	526
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	44
当該医療技術の概要 直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減(閉塞、解離の軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対するω3系脂肪製剤投与	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、ω3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤はω6系脂肪製剤のみである。入手可能なω3系脂肪製剤はOMEGAVENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			

医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	47
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			
医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	99
当該医療技術の概要 歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎骨復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚥下機能、審美的満足度の向上がはかられる。			
医療技術名	高強度硬質レジンブリッジ治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	28
当該医療技術の概要 高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	12
当該医療技術の概要 食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			
医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化果削除術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化果を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。			
医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	170
当該医療技術の概要 ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。			
医療技術名	ポリグリコール酸シートおよび自己フィブリン糊を用いた口腔外科手術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 顎口腔領域の手術における切除創面の被覆および局所止血を目的として、ポリグリコール酸シート(PGAシート)と共に自己フィブリン糊を用いる方法である。自己血漿から自己フィブリン糊調製装置(クリオソールシステム)により自己クリオプレシテート(自己クリオ)と自己トロンピンを作製して用いる。創傷被覆・止血・接着に加え、組織修復促進や局所感染予防の効果も期待される。			
医療技術名	CAR-T細胞療法に用いる患者の末梢単核球の採取・調製・保管	取扱患者数	29
当該医療技術の概要 難治性悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病への治療として、患者Tリンパ球をアフレーションにより十分量採取し、遺伝子改変したキメラ抗原受容体を発現させ、患者体内に戻すのがCAR-T療法である。自己リンパ球採取が再生医療等製品の原材料に当たるため、品質管理体制に関して監査を受け、認可された施設のみが実施できる。			
医療技術名	重症呼吸不全患者に対するVV-ECMO	取扱患者数	13
当該医療技術の概要 VV-ECMOとは大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。肺移植待機患者やCOVID-19などによる重症呼吸不全は長期の肺障害を来す。移植待機期間の酸素化、換気機能をVV-ECMOにより臓器補助を行うことで、移植へつなげたり、過剰な呼吸器設定を避け、lung restによる肺保護を行い、肺障害の改善までの期間を乗り切ることができる。数カ月にわたる管理が必要であり、呼吸、循環、凝固、デバイス管理等、集学的な管理を必要とする。			
医療技術名	画像・髄液バイオマーカーを通じたアルツハイマー病の診断	取扱患者数	64
当該医療技術の概要 脳内の病理変化を反映する画像バイオマーカーや髄液バイオマーカーの組み合わせを通じて、早期の段階でアルツハイマー病を診断する技術。従来から用いられている認知機能検査・臨床症候・形態画像による診断よりも早期の段階の変化であるアミロイド・タウ・蓄積と神経細胞死のマーカーとの組み合わせで、認知機能低下や臨床症候が明らかとなる前の段階で判定する。			
医療技術名	左側乳がんに対する深吸気止めVMATによる術後放射線治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 左乳がんに対する乳房温存術後照射は一般的な治療方法であるが、従来の放射線治療技術では自由呼吸下に3次元原体照射を行うが、当施設に導入しているSyncTraxを用いて深吸気止め下で回転型強度変調放射線治療(VMAT)を行うことで心臓や肺への被曝線量退席を軽減し、長期的な放射線障害の軽減を行っている。			
医療技術名	心臓移植治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 重症心不全の患者さんに対し、脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を施行している。			

医療技術名	腹部大動脈瘤に対する腹部分枝再建を伴うステントグラフト内挿術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
腎動脈など、主要な分枝近くから腹部大動脈瘤が拡大している場合には従来のステントグラフト手術は実施できず、開腹手術を行う他に方法がなかった。本法により分枝を再建・温存した形で大動脈瘤ステントグラフト治療が可能であり、開腹手術が出来ないハイリスク患者に対して大動脈瘤治療が可能となった。			
医療技術名	深部静脈血栓後遺症に対する静脈カテーテル治療	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
深部静脈血栓症の合併症として静脈血栓後遺症がある。本症では深部静脈の慢性閉塞に伴う静脈圧上昇のため、下肢浮腫や潰瘍を生じて生活の質を落とすことに繋がるが、本治療によって下肢症状の大きな改善が期待できる。			
医療技術名	経皮的CTガイド下ラジオ波焼灼術による原発性アルドステロン症の治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
二次性高血圧症である原発性アルドステロン症の内、片側性のアルドステロン産生腺腫を原因とする症例に対し、CTガイド下にラジオ波焼灼針を原因副腎腺腫に穿刺、焼灼してアルドステロンを正常化する治療。当院で行なった医師主導治験により2021年6月に保険収載された低侵襲治療である。			
医療技術名	腹腔鏡下肝切除(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
高度な技術が求められる腹腔鏡下肝切除において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより、患者のアウトカムに寄与すると期待されている。高度な技術と知識を要する手術である。			
医療技術名	自家CBA法による脱髄性疾患の診断	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
当科では自家で開発した標的蛋白を発現する生細胞を用いた立体構造を認識する免疫標識法(CBA法)により、アクアポリン4やミエリンオリゴデンドロサイト糖蛋白(MOG)に対する自己抗体検査を確立し診断法を提供している。受託事業などで提携する会社に技術移転を行うとともに、国内外から検査を受託し最新の高感度診断方法を開発している。			
医療技術名	自己抗体関連神経疾患に対するB細胞除去療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
NMDA受容体抗体脳炎をはじめとする自己抗体関連辺縁系脳炎は、劇症型の脳炎を発症し予後不良でありながら、その希少性のために治療法は確立していない。海外では近年B細胞除去療法が広く行われ有効性及び安全性が確立しつつある。当院では、自己抗体関連の辺縁系脳炎など治療法のない神経疾患に対してリツキシマブを用いたB細胞除去療法を実施している。			
医療技術名	コロナ後遺症の治療介入	取扱患者数	84
当該医療技術の概要			
コロナ後遺症では慢性咳嗽・倦怠感・筋肉痛・関節痛・記憶障害・うつ状態など様々な症状が数ヶ月から2年間、遷延する。コロナ後遺症の治療方法は未知である。総合診療科では沢山の軽症～中等症のコロナ感染症の治療経験より、コロナ後遺症に対して漢方薬やステロイドを使用しながら治療に取り組んでいる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	79
取扱い患者数の合計(人)	5164

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	18	56	ペーチェット病	165
2	筋萎縮性側索硬化症	105	57	特発性拡張型心筋症	163
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	30
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	15	60	再生不良性貧血	38
6	パーキンソン病	86	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	67
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	3
10	シャルコー・マリー・トウス病	2	65	原発性免疫不全症候群	44
11	重症筋無力症	59	66	IgA腎症	66
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	42
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	307	68	黄色靭帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	35	69	後縦靭帯骨化症	73
15	封入体筋炎	13	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	59
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	67	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	30	74	下垂体性PRL分泌亢進症	9
20	副腎白質ジストロフィー	3	75	クッシング病	9
21	ミトコンドリア病	22	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	25	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	198
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	8	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	3
28	全身性アミロイドーシス	28	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	214
30	遠位型ミオパチー	10	85	特発性間質性肺炎	110
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	121
32	自己貪食空胞性ミオパチー	1	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	121
34	神経線維腫症	30	89	リンパ管筋腫症	42
35	天疱瘡	33	90	網膜色素変性症	51
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	6
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	74
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	19
40	高安動脈炎	92	95	自己免疫性肝炎	13
41	巨細胞性動脈炎	13	96	クローン病	408
42	結節性多発動脈炎	39	97	潰瘍性大腸炎	426
43	顕微鏡的多発血管炎	35	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	28	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	40	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	4
47	バージャー病	10	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	9	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	587	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	244	105	チャージ症候群	0
51	全身性强皮症	117	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	89	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	83	108	旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	0
54	成人スチル病	27	109	TNF受容体関連周期性症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	11	110	非典型溶血性尿毒症症候群	1
				ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	4	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群	11
113	筋ジストロフィー	29	168	エーラス・ダンロス症候群	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	1	171	ウィルソン病	4
117	脊髄空洞症	7	172	低ホスファターゼ症	0
118	脊髄髄膜瘤	0	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	3	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	1	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性 性脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性 白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	7	182	アペール症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
131	アレキササンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	1
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	1	194	ソトス症候群	1
140	ドラベ症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	5	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	1
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	2
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	1	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	2
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	208	修正大血管転位症	5
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	209	完全大血管転位症	14
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	11
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	2
158	結節性硬化症	18	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	4
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	12
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	24
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	8
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	18	217	エプスタイン病	4
163	特発性後天性全身性無汗症	15	218	アルポート症候群	4
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワット症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	1



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	271	強直性脊椎炎	31
222	一次性ネフローゼ症候群	52	272	進行性骨化性線維異形成症	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	7	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
224	紫斑病性腎炎	1	274	骨形成不全症	1
225	先天性腎性尿崩症	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	276	軟骨無形成症	3
227	オスラー病	7	277	リンパ管腫症/ゴーム病	3
228	閉塞性細気管支炎	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	11	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2
230	肺胞低換気症候群	13	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	6
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	7
232	カーニー複合	2	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
233	ウォルフラム症候群	2	283	後天性赤芽球癆	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2
235	副甲状腺機能低下症	1	285	ファンコニ貧血	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	287	エプスタイン症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	3
240	フェニルケトン尿症	11	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
241	高チロシン血症1型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
242	高チロシン血症2型	0	292	総排泄腔外反症	1
243	高チロシン血症3型	0	293	総排泄腔遺残	2
244	メープルシロップ尿症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
245	プロピオン酸血症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
246	メチルマロン酸血症	2	296	胆道閉鎖症	33
247	イソ吉草酸血症	0	297	アラジール症候群	3
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	298	遺伝性膀胱炎	4
249	グルタル酸血症1型	0	299	嚢胞性線維症	0
250	グルタル酸血症2型	1	300	IgG4関連疾患	66
251	尿素サイクル異常症	2	301	黄斑ジストロフィー	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	303	アッシュャー症候群	1
254	ポルフィリン症	1	304	若年発症型両側性感音難聴	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
256	筋型糖原病	0	306	好酸球性副鼻腔炎	27
257	肝型糖原病	4	307	カナバン病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	0
260	シトステロール血症	0	310	先天異常症候群	1
261	タンジール病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
263	脳髄黄色腫症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
264	無 $\beta$ リポタンパク血症	1	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
265	脂肪萎縮症	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
266	家族性地中海熱	5	316	カルニチン回路異常症	1
267	高IgD症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	318	シトリン欠損症	3
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0			
322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0			
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0			
324	メチルグルタコン酸尿症	0			
325	遺伝性自己炎症疾患	1			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	4			
328	前眼部形成異常	0			
329	無虹彩症	3			
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	1			
331	特発性多中心性キャッスルマン病	7			
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0			
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0			
334	脳クレアチン欠乏症候群	0			
335	ネフロン癆	0			
336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0			
337	ホモシスチン尿症	6			
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	189
合計患者数(人)	5660

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・重症患者初期支援充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟) 7対1入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)13対1入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・術後疼痛管理チーム加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算3
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算1(25対1、看護補助者5割以上)	・データ提出加算2
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・入退院支援加算1
・療養環境加算	・入退院支援加算3
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算2	・精神科急性期医師配置加算
・放射線治療病室管理加算 (治療用放射性同位元素による場合)	・排尿自立支援加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・地域医療体制確保加算
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科応急入院施設管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科病棟入院時医学管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室管理料)
・精神科身体合併症管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 (新生児集中治療室管理料)
・精神科リエゾンチーム加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2
・医療安全対策加算1	・緩和ケア病棟入院料1
・感染対策向上加算1	・看護職員処遇改善評価料65

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・療養・就労両立支援指導料の「注3」に規定する相談支援加算
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・がん治療連携計画策定料
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・外来排尿自立指導料
・糖尿病合併症管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料イ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ロ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料ハ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ニ	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・精神科退院時共同指導料1及び2
・糖尿病透析予防指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の「注2」に規定する遠隔モニタリング加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・一般不妊治療管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・二次性骨折予防継続管理料1	・皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料3	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・下肢創傷処置管理料	・遺伝学的検査
・外来放射線照射診療料	・染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・骨髄微小残存病変量測定
・連携充実加算	・BRCA1/2遺伝子検査
・ニコチン依存症管理料	・がんゲノムプロファイリング検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・先天性代謝異常症検査	・内服・点滴誘発試験
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・経気管支凍結生検法
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	・咀嚼能力検査
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・検体検査管理加算(IV)	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ
・国際標準検査管理加算	・咬合圧検査
・遺伝カウンセリング加算	・精密触覚機能検査
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・睡眠時歯科筋電図検査
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・画像診断管理加算3
・胎児心エコー法	・歯科画像診断管理加算1
・時間内歩行試験	・歯科画像診断管理加算2
・シャトルウォーキングテスト	・遠隔画像診断
・ヘッドアップティルト試験	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・人工臓器検査	・CT撮影
・人工臓器療法	・MRI撮影
・長期継続頭蓋内脳波検査	・冠動脈CT撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・外傷全身CT加算
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・心臓MRI撮影加算
・脳波検査判断料1	・乳房MRI撮影加算
・神経学的検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・頭部MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・全身MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ロービジョン検査判断料	・外来化学療法加算1

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・無菌製剤処理料	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・手術用顕微鏡加算
・運動器リハビリテーション料(I)	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・がん患者リハビリテーション料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・歯科口腔リハビリテーション料2	・センチネルリンパ節加算
・認知療法・認知行動療法1	・皮膚移植術(死体)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・自家脂肪注入
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・医療保護入院等診療料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・椎間板内酵素注入療法
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・口腔粘膜処置	・内視鏡下脳腫瘍生検術
・口腔粘膜血管腫凝固術	・内視鏡下脳腫瘍摘出術
・レーザー機器加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・硬膜外自家血注入	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・脳刺激装置交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・脊髄刺激装置植込術
・人工腎臓	・脊髄刺激装置交換術
・導入期加算3	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・腎代替療法実績加算	・仙骨神経刺激装置植込術
・透析液水質確保加算	・仙骨神経刺激装置交換術
・慢性維持透析濾過加算	・角結膜悪性腫瘍切除手術

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・角膜移植術(内皮移植加算)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・羊膜移植術	・乳がんセンチネルリンパ節加算1
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・センチネルリンパ節生検(片側)(併用法)
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	・乳がんセンチネルリンパ節加算2
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・センチネルリンパ節生検(片側)(単独法)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの))
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・網膜再建術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工内耳植込術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・植込型骨導補聴器移植術	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
・植込型骨導補聴器交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・同種死体肺移植術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・生体部分肺移植術
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・(1)食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・(1)内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・(1)胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・(1)小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・(1)結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・(1)腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・(1)尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・(1)膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
	・(1)腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・内視鏡下筋層切開術	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・補助人工心臓
・経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的冠動脈弁置換術)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・胸腔鏡下弁置換術	・同種心移植術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・同種心肺移植術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・磁気ナビゲーション加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・ペースメーカー移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・植込型除細動器交換術(その他のもの)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・体外衝撃波胆石破碎術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下肝切除術



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)	・生体腎移植術
・生体部分肝移植術	・膀胱水圧拡張術
・同種死体肝移植術	・ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・体外衝撃波膀胱石破碎術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膀胱尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膀胱尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・同種死体膀胱移植術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体膀胱腎移植術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種死体膀胱島移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)
・生体部分小腸移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・同種死体小腸移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・輸血管理料 I
・同種死体腎移植術	・貯血式自己血輸血管理体制加算

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・コーディネート体制充実加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・自己生体組織接着剤作成術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・病理診断管理加算2
・同種クリオプレシピテート作製術	・口腔病理診断管理加算2
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料(補綴物維持管理料)
・歯周組織再生誘導手術	・歯科矯正診断料
・手術時歯根面レーザー応用加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・顎関節人工関節全置換術(歯科)	・入院時食事療養(I)
・歯根端切除手術の注3	・向精神薬多剤投与に係る医師の届出
・麻酔管理料(I)	・ハイケアユニット入院医療管理料1【新型コロナウイルス感染症患者の受入れ等のための簡易な報告】
・麻酔管理料(II)	
・周術期薬剤管理加算	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	・
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	290回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	28例
	剖検率(%)	3.20%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
上皮系細胞から上皮間葉転換(EMT)誘導を応用した歯胚形成	齋藤幹	小児歯科	3,640,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
講義と実習を連動させた効果的な漢方教育プログラムの開発と教育効果の検証	高山真	総合地域医療教育支援部	910,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨-脳連関に着目した高齢者コグニティブ・フレイルの神経基盤の解明	高野由美	加齢・老年病科	780,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
心停止肝細胞移植におけるviability上昇のための新しい機械灌流法の開発	藤尾淳	乳腺・内分泌外科	520,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
心停止肝細胞移植におけるviability上昇のための新しい機械灌流法の開発	藤尾淳	移植・再建・内視鏡外科	520,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
超音波波形解析による術中異常血管識別法の開発	下田由輝	脳神経外科	520,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
口腔癌細胞の代謝活性と環境因子の関連をリアルタイムモニタリング法で探る	森島浩允	歯科顎口腔外科	650,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
硬組織蓄積性放射線傷害の概念に基づいた新たながん放射線治療有害事象の予防戦略	百々美奈	口腔支持療法科	1,430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
心臓死ドナー肺をターゲットとした体外肺灌流装置を用いた肺機能回復法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	1,950,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
癌代謝解析による腎癌細胞のチロシンキナーゼ阻害薬耐性獲得機序と新規治療標的の解明	川崎芳英	泌尿器科	1,560,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
大規模MRIデータベース・治療的介入を用いた、心機能が脳の老化に及ぼす影響の研究	鈴木秀明	循環器内科	650,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
多系統蛋白質症-ALSにおける神経筋選択的な細胞変性メカニズムの解明	割田仁	脳神経内科	1,430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

腫瘍診断目的のFDG PETにおける心筋集積と心臓疾患の関連に関する前向き研究	高浪健太郎	放射線診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム編集マウスを用いたBリンパ球欠損症新規原因遺伝子の証明	菊池敦生	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
先天性大脳白質形成不全症に伴う末梢神経障害の病態解明と治療法の確立	植松有里佳 (沼田)	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Nrf2依存的リプログラミングを標的とした肺癌新規治療法開発	濱田晋	消化器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植患者におけるHIRA-TAN法での起炎病原体の探求	平間崇	呼吸器外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における細胞内DNA認識機構の関与の解明	小荒井晃	呼吸器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
COPDにおける肺胞上皮細胞のストレス応答機構と微小環境相互作用の検討	藤野直也	呼吸器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖代謝非依存性乳がんにおける診断・治療の一体化戦略の構築:アミノ酸代謝に着眼して	原田成美	乳腺・内分泌外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体外肺灌流装置を用いたマージナルドナー肺の肺葉機能診断法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S1PR1シグナル制御による脳血液関門保護を介したくも膜下出血の新規治療法開発	伊藤明	脳神経外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ジャボニカアレイを用いた股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉大介	整形外科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性膀胱痛症候群の病態分類と重症度を評価可能する尿中バイオマーカーの確立	川守田直樹	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索	八幡祥生	歯内療法科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

リン酸カルシウム遺伝子導入剤による機能性抗菌コーティングのインプラント周囲炎応用	天雲太一	咬合回復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体データに基づく個別筋骨格シミュレーションに関する研究	重光竜二	orimoto	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食の力を測る新システム開発と咀嚼機能評価	菊池雅彦	総合歯科診療部	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散テンソル画像を応用した咬筋内部筋線維動態の解析手法の確立	庄原健太	咬合回復科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
破骨細胞前駆細胞の骨組織への遊走を制御する $\gamma$ $\delta$ T細胞の機能解明と分子標的薬の検討	西村寿晃	顎口腔機能治療部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブルデバイスを用いた周産期の不眠実態の解明と睡眠介入プログラムの作成	菊地紗耶	精神科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性正常圧水頭症の認知・精神・行動障害に関連する神経基盤の解明	菅野重範	高次脳機能障害科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による多系統蛋白質症の神経筋共通病態解明と治療標的分子の探索	井泉瑠美子	脳神経内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ALSにおける活性化アストロサイトの極性転換に着目した新規治療法の開発	四條友望	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢出産妊婦の効果的な支援方法の検討	小林奈津子	精神科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIによる癒着胎盤の定量的診断方法の開発	佐藤友美	放射線診断科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胸部放射線治療中の腫瘍縮小および体内変化により変動する心臓被曝線量評価の研究	高橋紀善	放射線治療科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIと流体固体相互作用解析の融合による内臓動脈瘤塞栓後の再開通リスク因子の解明	鎌田裕基	放射線診断科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

肺の機能と形態の線量評価を融合した放射線肺臓炎予測モデルの構築	勝田義之	放射線治療科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規病因遺伝子GALMを含むガラクトース血症と若年性白内障発症との関連	和田陽一	小児科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内における慢性低酸素ストレスが胎児の副腎皮質に与える影響の解析	池田秀之	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮システムに胎盤の内分泌作用として付与するCRH持続投与の有効性の検討	佐藤信一	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫抵抗性克服のための非小細胞肺癌における放射線照射がもたらす免疫応答の解析	突田容子	呼吸器内科	3,250,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿中落下細胞に含まれる多能性幹細胞の同定と解析	内田奈生	小児科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における2型自然リンパ球の機能解析	町山智章	リウマチ膠原病内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外マトリックス阻害による腫瘍免疫活性化を目指した新規肝癌治療戦略	青木修一	肝・胆・膵外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳死肺移植における広域周波オンレーション法の有用性に関する研究	新國悦弘	リハビリテーション部門	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
誘導ヒトシュワン様細胞移植を用いた難治性神経障害性痛に対する根治的治療法の開発	村上徹	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害の血管内皮傷害における内皮微小粒子の病態生理学的作用の解明	武井祐介	麻酔科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボローム解析による骨軟部肉腫のバイオマーカー探索	吉田新一郎	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村雅之	整形外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

エピゲノム遺伝子を標的としたSWI/SNF変異婦人科癌に対する新規併用療法の確立	重田昌吾	婦人科	4,160,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨造成後のインプラント周囲骨の経年的変化に影響する生体力学的背景因子の検討	佐藤智哉	咬合回復科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口唇口蓋裂患者の口腔感覚特性の解明	島田栄理遣	顎口腔機能治療部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒストンメチル基転移酵素EZH2は牽引力による歯根膜の骨芽細胞分化を制御するか	伊藤新	矯正歯科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バイオマーカーを活用した新規せん妄予測スコアの開発	佐久間篤	精神科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性嚢胞性腎・肝疾患への運動療法の効果の機序解明	三浦平寛	内部障害リハビリテーション科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性膝関節症者の屋内・屋外環境下での膝関節にかかる負荷の相違	矢口春木	リハビリテーション部門	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
複雑閉鎖空間中の爆風による生体内衝撃波伝播防止のための衝撃波工学・医学的検討	中川敦寛	脳神経外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ものづくり日本のアイデアと技術を盛り込んだ移植肺体外灌流システムの日加共同開発	渡辺有為	呼吸器外科	6,370,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スナクスを用いた手術後悪心嘔吐の脳内機序の解明	杉野繁一	手術部	2,730,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血流と内皮細胞の相互作用から迫るもやもや病の発症機序解明	富永悌二	脳神経外科	13,520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト肝癌におけるvasohibin-2発現意義と免疫治療への展開	三浦孝之	肝・胆・膵外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症モデルにおける軸索分岐異常の分子基盤の解明	鈴木直輝	脳神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



MOG抗体関連疾患の臨床表現型と重症化に関する分子免疫病理学的解析	高井良樹	脳神経内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非造影灌流MRIによる前交通動脈瘤術後高次機能障害診断システム構築	山崎哲郎	放射線診断科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多面的アプローチによるニーマンピック病C型の病態分子機構と病態生理の解明	前川正充	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮装置を用いた胎児発育遅延モデルにおける脳障害の解析	埴田卓志	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クローン病由来オルガノイド単層培養による新規疾患感受性遺伝子RAP1Aの機能解析	諸井林太郎	消化器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム不安定性による体細胞モザイクを介したクローン病の発症・病態変化の解析	角田洋一	消化器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Rho-kinase活性に着目した微小血管狭心症の新規治療法及び治療戦略の確立	白戸崇	臨床研究推進センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧症における遺伝的新規予後規定因子の探索	矢尾板信裕	循環器内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CYP27A1を標的とした新規喘息治療薬の開発に向けての基礎的研究	市川朋宏	呼吸器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫真皮内浸潤におけるIL-17/LL37シグナルの役割の解明	藤村卓	皮膚科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表皮I $\kappa$ B $\zeta$ を軸とした皮膚細菌叢異常による自己免疫疾患発症機構の解析	水芦政人	皮膚科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転写因子GATA-2を介した造血幹細胞と造血微小環境の機能的連関の解明	藤原亨	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
B細胞遺伝子発現に基づく病原性形質芽細胞を標的としたSLEの新規治療法の開発	藤井博司	リウマチ膠原病内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

共通病態を基盤とした高安動脈炎と潰瘍性大腸炎を包括する新規症候群の検討	白井剛志	血液内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
D型乳酸アシドーシスを予防する効果的のプロバイオティクスの確立	安藤亮	小児外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心停止肝に対する、酸素化灌流とMuse細胞移植を融合した臓器修復再生法の開発	宮城重人	移植・再建・内視鏡外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイド培養を応用した大腸癌に対する次世代個別化医療の実現に向けて	唐澤秀明	胃腸外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Bile cell-free DNAを用いゲノム多様性を標的にした胆道癌新規治療	中川圭	肝・胆・膵外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸全摘・回腸囊肛門吻合術後の腸内環境の変化と回腸囊炎発症メカニズムの解明	渡辺和宏	胃腸外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌発癌と浸潤転移能獲得機構における低分子G蛋白Ralの機能解析	大塚英郎	肝・胆・膵外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規生体吸収性素材による大動脈解離断端形成法の確立と有効性に関する研究	伊藤校輝	心臓血管外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
赤外線照射による植込型補助人工心臓ドライブレイン感染の制御	片平晋太郎	心臓血管外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
開心術後の縦隔内癒着予防のための生体吸収性薬剤徐放性代用自己心膜の開発	前田恵	心臓血管外科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫とサブタイプに着目した慢性移植肺機能不全のメカニズム解明	渡邊龍秋	呼吸器外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規肺移植後免疫抑制療法の開発を目指した間葉系幹細胞由来の細胞外小胞の解析と応用	大石久	呼吸器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺葉移植戦略の確立 - 局所二酸化炭素濃度測定による肺葉機能評価 -	渡辺有為	呼吸器外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

敗血症性DICにおけるマイクロパーティクルの動態およびその病態生理学的役割の解明	齋藤浩二	集中治療部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管壁イメージングMRIと瘤内血流のAI解析による脳動脈瘤破裂点の推定	面高俊介	脳神経外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内炎症の早期診断マーカーの探索および早期治療法の開発	築地謙治	臨床研究監理センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3世代コホート調査を用いた生殖補助技術特有のゲノム遺伝子異常の探索的研究	菅原淳史	産科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模出生コホートから月経関連症状の長期的変化を捉える	渡邊善	婦人科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
予後不良卵巣癌における薬剤製剤抵抗性の機序解明と新規治療標的の開発	徳永英樹	婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイドとオミックス解析による頭頸部非扁平上皮癌の個別化医療モデルの開発	佐藤亜矢子(中目)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
瘢痕化定量技術と薬剤ナノ粒子化による組織移行性の高い濾過胞瘢痕抑制薬の開発	津田聡	眼科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前眼部組織間のトランスオミックス解析による包括的な眼圧上昇機序の解明	横山悠	眼科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合解析を用いた網膜神経節細胞別の脆弱性に関わる緑内障障害シグナル伝達経路の探索	面高宗子	眼科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔樹状細胞を標的とした舌下免疫療法の効果増強法の開発	田中志典	歯科麻酔疼痛管理科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
RANKL逆シグナルと破骨細胞エクソソームを基軸とした新規歯周組織再生療法の開発	向阪幸彦	歯周病科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
静電誘導型発電シートを用いたウェアラブル型リアルタイム咬合力測定方法の開発	依田信裕	咬合回復科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

咀嚼筋fMRIを応用した口腔機能とフレイルの多角的関連解析	山口哲史	口腔機能回復科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
形状記憶ゲルを利用した周術期医療にも対応可能な顎補綴装置の開発	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
矯正学的歯の移動時における低出力超音波パルスによる骨改造亢進機構の解析	福永智広	矯正歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レジンによるアレルギーおよび免疫増強効果の機序解明	坂東加南	矯正歯科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新型コロナウイルス感染症療養患者の健康管理アルゴリズム確立及び管理ツールの開発	石井正	総合地域医療教育支援部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線従事者に資する持続可能な放射線被曝防護システムの開発	常陸真	放射線部	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
未知の薬物相互作用の解明を目指したCYP4F2活性への薬物の影響評価	佐藤裕	薬剤部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬による自己免疫疾患関連有害事象のバイオマーカー探索	高崎新也	薬剤部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NSAIDsによるABCC3とROSを介した家族性大腸腺腫症の発癌抑制機構の解明	小林実	卒後研修センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆汁由来オルガノイドによるIgG4関連硬化性胆管炎の新規診断法の開発	吉田直樹	消化器内科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ディープラーニングを用いた新MRIシークエンス開発～小児の肝機能画像評価の実現	青木英和	放射線診断科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
透析シャント狭窄低減のための血流要因解析	木下知	放射線診断科	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経筋疾患のミトコンドリア機能異常の解析と新規治療薬MA-5の効果の検証	及川善嗣	小児科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

膵の限局的脂肪化・限局的萎縮の病態解明と膵癌早期診断への臨床応用	三浦晋	消化器内科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Notch1細胞膜受容体維持を介した細胞老化誘導による胃癌発癌抑制機序の解明	金笑奕	消化器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
オミックス解析に基づく頻脈誘発性心筋症と拡張型心筋症の鑑別バイオマーカーの探索	長谷部雄飛	循環器内科	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
冠動脈機能異常の成因と機序に内皮由来弛緩因子が果たす役割の解明	神戸茂雄	循環器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患における活性イオウ分子種産生酵素の解析と新規抗酸化治療薬の創出	佐野寛仁	呼吸器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
活性イオウ分子種によるマクロファージ細菌貪食能を介した新規COPD治療戦略の開拓	佐藤慶	呼吸器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規抗酸化分子によるT細胞活性制御機構の解明と新規免疫・アレルギー治療の開発	沼倉忠久	呼吸器内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺線維化と鉄動態	東出直樹	呼吸器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NAD代謝による組織因子制御と慢性腎臓病血栓症の予防法開発	大江佑治	血液浄化療法部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病性腎臓病における腸腎連関の解明と新規DKDバイオマーカーの確立	菊地晃一	腎・高血圧・内分泌科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫の自然退縮メカニズムの解明	市川聡	血液内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト・家畜・環境水に由来する志賀毒素産生性大腸菌の包括的分子疫学研究	馬場啓聡	総合感染症科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単一前脳基底細胞のゲノム網羅的遺伝子発現解析から迫る手術後せん妄の機序解明	紺野大輔	集中治療部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

α1受容体拮抗薬の抗アレルギー作用の検討	阿部望	手術部	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
てんかん診療における心理社会評価の信頼性・妥当性検証による標準化の取組み	藤川真由	てんかん科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊椎関節炎モデルマウスを用いた体軸性関節炎および脊椎強直の病態解明と新規治療開発	泉山拓也	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低活動膀胱に対する低出力衝撃波およびPDE5阻害薬を用いた新規治療法の開発	佐藤琢磨	泌尿器科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎盤幹細胞モデルを用いた前置胎盤の遺伝子発現とエピゲノム制御	濱田裕貴	産科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NRF2活性化モニタリングマウスを用いた内耳酸化ストレス障害の局在と病態の研究	大石哲也	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来網膜神経節細胞におけるミトコンドリア機能障害の検討	小林航	眼科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレスによる細胞老化とSTING経路に着目した糖尿病網膜症の病態解明	安田正幸	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
L-アセチルカルニチンの重要性ならびに神経保護治療への応用	前川重人	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
An idea of regulatory science-based bone regeneration product for critical bone defect healing	Venkataiah Venkata Suresh	歯内療法科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロRNAを最適化した力学応答歯根膜細胞エクソソームによるDDSの基盤構築	丸山顕太郎	歯周病科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型の形状記憶合金製インプラントの開発	遠藤千晶	顎口腔機能治療部	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
帯電による結合作用を利用した新規石灰化促進タンパク質製剤の開発	長崎敦洋	咬合修復科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

熱拡散を応用したチタンのマルチファンクション化表面改質法の確立	山口洋史	咬合回復科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の発生におけるIGFBPの機能解明とIGF1を基軸とした再生歯形態制御への応用	大柳俊仁	矯正歯科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節窩軟骨欠損が関節窩の接触圧に与える影響	川上純	整形外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SアデノシルメチオニンのBリンパ球分化・活性化での機能の解明	加藤浩貴	血液内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボロミクスを用いたアルドステロン産生腺腫の新規バイオマーカーの探索	手塚雄太	腎・高血圧・内分泌科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪肝の細胞ストレス応答に関与するTCA回路中間体の解析と治療応用に向けた研究	佐野晃俊	消化器内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラクトフェリンによる骨再生増進効果と臨床への応用	岩間亮介	歯科顎口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
包括的遺伝子情報に基づいた新規生分解性Mgデバイスの形状および表面処理技術の開発	柳沢佑太	歯科顎口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
パルスジェットと超音波硬度計測器を併用した硬度選択的う蝕治療システムの開発	横山由加(佐藤)	顎口腔画像診断科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サルコペニアと脈管を標的とする新規高齢者肺炎対策の開発	岡崎達馬	リハビリテーション部	11,960,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サルコペニアと脈管を標的とする新規高齢者肺炎対策の開発	小黒草太	放射線診断科	6,760,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エフェロサイトーシスを基軸とした歯周組織恒常性維持機構の解明と治療への応用	梶川哲宏	歯周病科	10,270,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再生指向型エピゲノムに基づく歯周組織再生術前診断法と精密化療法の樹立	鈴木茂樹	歯周病科	5,720,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

福島第一原発事故後の環境における歯を用いた包括的線量評価	高橋温	障がい者歯科治療部	7,410,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療従事者のレジリエンス能力を獲得するための次世代型患者安全教育システムの開発	荒田悠太郎	卒後研修センター	5,590,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
てんかんの戦略的な病名開示の検討は就職率を向上させるか？	小川舞美	てんかん科	480,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光学印象およびCAD/CAMシステムを用いたOSAS用OAの製作方法の検討	相澤なみき	歯科技術部門(技工室)	470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ePRO連携による高齢者在宅医療へのデジタルトランスフォーメーションの実装と検証	高田宗典	臨床試験データセンター	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロビーム・メタボローム統合解析による、新規がん治療法の開発	今井源	腫瘍内科	2,990,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
濾胞性リンパ腫の新規予後予測モデルの開発	福原規子	血液内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網膜解析を中心とした早期治療抵抗性統合失調症の生物学的指標探索と脳神経基盤の解明	小松浩	精神科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低侵襲MR導電率マッピングによる乳癌の電気生理学的特徴の解明	前川由依	放射線診断科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KRAS遺伝子変異導入モデルを用いたゴーラム病発症機序解明と新規治療薬の探索	野澤明史	遺伝科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮システムに胎盤の排泄機能として付与する持続血液透析の有効性の検討	渡邊真平	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮・人工胎盤システム管理下胎児治療(カテーテル手術)の安全性の検討	星合哲郎	産科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大規模コホートによる新規予後予測システムの開発	八田和久	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



炎症性腸疾患患者のチオプリンに暴露された胎児の遺伝的選択・変異に関する検討	志賀永嗣	消化器内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心不全および不整脈に対する新しい遠隔治療アルゴリズム開発のための基礎研究	野田崇	循環器内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規CT画像診断法を用いた冠動脈の結晶性炎症と好中球NETsの病態解明	西宮健介	循環器内科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎はなぜ感染症で増悪するのか?: 抗菌ペプチドカゼリサイディンの炎症惹起機構	高橋隼也	皮膚科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎糖新生の全身代謝における役割の解明	金子慶三	糖尿病代謝科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌におけるのAbscopal効果の検証と放射線療法効果モニタリングの開発	宮下穰	乳腺・内分泌外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊膜由来幹細胞が肝内膵島生着環境に与える影響の解明	戸子台和哲	移植・再建・内視鏡外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト羊膜の創傷治癒促進作用に着目した新しい胆汁漏・膵液瘻治療法の開発	宮澤恒持	移植・再建・内視鏡外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌術前治療耐性克服を目指したcollagen XVIIを標的とする新規治療開発	水間正道	肝・胆・膵外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工腸を用いた発症早期モデルによる潰瘍性大腸炎の発症メカニズムの解明	神山篤史	胃腸外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌術後反回神経麻痺の改善を目的とした羊膜細胞による神経損傷修復材の開発	谷山裕亮	移植・再建・内視鏡外科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんの増大、転移に対する体外循環の影響を探究する	鈴木智之	心臓血管外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-36 $\beta$ の免疫チェックポイント阻害作用による新規肺がん治療法の開発	野津田泰嗣	呼吸器外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

1次体性感覚野の脳波ガンマ振動に基づく疼痛モニターの開発と精密術後鎮痛への展開	鎌田ことえ	手術部	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
人工赤血球を人工胎盤のプライミング液に用いた人工子宮システムの有用性の検討	桜井愛恵	周産母子センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
感音難聴と上気道好酸球性炎症の病態形成における活性イオウ分子種の関与	鈴木淳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性脈管奇形症候群の遺伝子解析による病態解明と新たな治療法開発	長尾宗朝	形成外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
定量的活動依存性マンガン造影MRIによる三叉神経障害性疼痛の慢性化機構の解明	安田真	歯科麻酔疼痛管理科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性サイトカインを標的とした進行性下顎頭吸収に対する治療法の新機軸	野上晋之介	歯科顎口腔外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
うま味感受性を利用したフレイルとサルコペニア肥満の攻略法の開発ー骨格筋量の改善ー	佐藤しづ子	総合歯科診療部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自動音声認識と機械学習による新たな医学教育システムの創出	小林正和	高度救命救急センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
合併症を再現できる内視鏡手技シミュレータを展開し、有効な学習プログラムを構築する	菅野武	総合地域医療教育支援部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CKD患者のサルコペニアの病態機序解明およびHIF-PH阻害薬の効果に関する検討	渡邊公雄	血液浄化療法部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日常生活の実環境下における脳卒中片麻痺患者の歩行障害のメカニズム解明	関口雄介	リハビリテーション部門	3,120,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
クエン酸塩による腎臓病の予防	阿部倫明	総合地域医療教育支援部	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
医療情報システムにおける相互運用性を向上するためのデータ連携基盤の研究開発	中村直毅	メディカルITセンター	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

メタボローム解析による腎薬物トランスポーター相互作用バイオマーカーの同定と評価	佐藤紀宏	薬剤部	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿エクソソーム中トランスポータータンパク質の定量による急性腎障害早期診断法の確立	臼井拓也	薬剤部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CYP3A4活性予測尿中バイオマーカーを利用した薬物投与設計法の開発	公文代將希	薬剤部	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌におけるヒトパピローマウイルス感染と化学放射線療法への感受性に関する研究	石田裕嵩	移植・再建・内視鏡外科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣癌の新規治療標的TIE-1に対するPROTACを用いた阻害剤の開発	石橋ますみ	婦人科	3,380,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高校生の自己肯定感を育む心理支援に向けて一自殺予防に活かすモニターリング	奥山純子(林)	肢体不自由リハビリテーション科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊水中血液暴露による胎児肺障害モデル-妊娠羊を用いた遺伝子解析と治療法の模索-	熊谷祐作	産科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性血小板減少症の新規原因遺伝子を介した巨核球・血小板造血メカニズムの解明	片山紗乙莉	小児科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵星細胞の細胞老化を介した膵癌制御機構の解明と新規治療薬の開発	滝川哲也	消化器内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
運動誘発性肺高血圧症における肺動脈機能異常の病態解明と予後への影響	佐藤大樹	循環器内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
既喫煙喘息におけるレドックスバランスと炎症基盤の観点から見た新規治療戦略の検討	京極自彦	呼吸器内科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
閉塞性肺疾患におけるPannexin channelを介した炎症制御機序の解明	相澤洋之	呼吸器内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚T細胞性リンパ腫における紫外線療法の免疫学的メカニズムの解明	古舘禎騎	皮膚科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

X連鎖性鉄芽球性貧血における鉄依存性細胞死および鉄代謝制御の解明	小野浩弥	輸血・細胞治療部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
S-アデノシルメチオニンの造血幹細胞分化での役割の解明	加藤浩貴	血液内科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SGLT2阻害薬が糖新生を介して全身代謝に作用する機序の解明	穂坂真一郎	糖尿病代謝科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
副甲状腺移植の生着機序の解明ー膝島移植との差ー	佐藤真実	乳腺・内分泌外科	2,860,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満減量手術後の腸肝循環短絡化による肝発癌抑制効果の検討	土屋堯裕	肝・胆・膵外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝切除・肝移植におけるTEG6sを用いた周術期凝固管理の至適化	松村宗幸	移植・再建・内視鏡外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳卒中後中枢性疼痛に対するオキシトシンを用いた治療戦略	齋藤秀悠	集中治療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
次世代型シミュレーション実習システムの開発と医学教育における優位性の検証	大西詠子	手術部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア転移による脳血管障害に対する神経保護・神経再生療法の構築	田代亮介	脳神経外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレス応答転写因子NRF2に着目した新規Exercise pillの開発	大野木孝嘉	整形外科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高い骨形成能と生体吸収性を有する生体活性因子を担持した人工骨の開発	馬場一慈	整形外科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BRCAバリエント保持者のリスク低減卵巣卵巣切除術後の身体的心理的障害の評価	湊純子	周産母子センター	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液腺腫瘍オルガノイドを実現化に近づける生検・細胞診由来培養法の確立	石川智彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

サイトメガロウイルス前眼部感染症の発症機序における性差や加齢の関与	針谷威寛	眼科	2,470,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性眼血流障害による新規緑内障モデル動物の作製	矢花武史	眼科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BIA-ALCLを誘導する炎症遷延メカニズムの解明	庄司未樹	形成外科	2,210,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PJD法によるフッ素化アパタイト成膜を用いた放射線性齲蝕の予防・治療法の新機軸	泉田一賢	周術期口腔健康管理部	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗スクレロステン抗体とリン酸オクタカルシウムを応用した骨再生医療の開発	岩間亮介	歯科顎口腔外科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波顕微鏡による音響特性を利用した歯の内部構造の三次元画像化デバイスの開発	長沼由泰	障がい者歯科治療部	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フリーラジカル生成に着目した接着性レジンセメントの最適な重合・接着条件の探索	尾崎茜	咬合修復科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機械的刺激に対してレドックス制御を応用した新規骨再生技術の探索	渡辺隼	歯科医療管理部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CAD/CAM冠の変形挙動解析とAIを用いたトラブル発生要因の探索	勝田悠介	咬合修復科	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死におけるリンパ球系細胞の免疫応答の解明	武田裕利	歯科顎口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液腺の発生期に副交感神経が筋上皮細胞の分化に及ぼす作用の検討	真藤裕基	歯科麻酔疼痛管理科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性下顎頭吸収に対するテリパラチドを用いた新規治療方法の構築	梶田倫功	歯科顎口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TNF- $\alpha$ による破骨細胞分化および歯の移動時のエピジェネティクス制御機構の解明	野口隆弘	矯正歯科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

血液腫瘍患者の周術期 口腔管理時に問題となる 急性炎症発症に至る関与 因子の検討	加藤翼	口腔支持療法科	1,560,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
耳鼻咽喉科における MRSAの分子疫学的解析 による伝播様式の解明と 感染対策基盤構築	角田梨紗子	耳鼻咽喉・頭頸部外 科	1,430,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
in situ象牙芽細胞ダイレク トリプログラミングへの挑戦	鈴木茂樹	歯周病科	3,510,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
Dysbiotic細菌叢特異的 MAIT細胞の開発と歯周 炎治療への応用	梶川哲宏	歯周病科	3,120,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
画像解析による福島第一 原発事故後の環境試料 中のストロンチウム90濃度 測定法の開発	高橋温	障がい者歯科治療部	3,250,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
アトピー性皮膚炎におけ る表皮LκBと遺伝子の役 割	照井仁	皮膚科	1,430,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
糖尿病患者の感染症重 症化機序の解明:血管内 皮細胞pyroptosisによる IL-1β放出	三瓶想	高度救命救急セン ター	1,430,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
Interventional Radiology の医療経済評価-国民医 療費の低下を目指して-	柳垣聡	放射線診断科	1,430,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
認知症者における発話障 害の評価と介入法に関す る研究	太田祥子	高次脳機能障害科	780,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
オキシトシン-GABAパス ウェイに着目した最難治 統合失調症の病態解析	伊藤文晃	精神科	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
乳がん患者における網羅 的ゲノム・オミックス解析に 基づく心毒性発症機序の 解明	後岡広太郎	循環器内科	780,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
次世代型外傷診療システ ム:ハイブリッドERに関す る研究プラットフォーム開 発	久志本成樹	救急科	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会
認知症早期診断のための 質感認知障害と物体認知 障害の関係性および神経 基盤の解明	鈴木匡子	高次脳機能障害科	130,000	補 委	独立行政 法人日本 学術振興 会

線溶系制御因子を標的とした新規複合的がん免疫療法の確立	藤村卓	皮膚科	200,008	補委	独立行政法人日本学術振興会
小腸移植拒絶反応の早期診断を目的としたドナー由来DNA断片の解析	和田基	小児外科	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ネクロトーシスの脂質性制御とセラミド分子認識の解明	重田昌吾	婦人科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児の脳損傷を予防するための心拍細変動解析による分娩監視指標の開発	松田直	小児科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体吸収性金属材料の有効性・安全性リスク評価のための分解特性評価手法の開発	今井啓道	形成外科	845,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アドバンス・ケア・プランニングを始める時期が客観的にわかる方法の開発と効果の検証	平塚裕介	緩和医療科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性心不全の病態と予後規定因子探索のための多変量経時データ解析モデルの開発	後岡広太郎	循環器内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日本人女性の妊娠期の栄養指導プログラム継世代的観点からの構築	室月淳	産科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Total Survey Errorの枠組みによる調査データ評価手法の確立	富田尚希	老年科	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リン酸八カルシウム・コラーゲン複合体と自家骨とによる広範囲顎骨再建法の確立	江副祐史	顎口腔外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
味覚障害の改善は「フレイル予防」につながる-唾液を用いた免疫学的測定法の開発-	佐藤しづ子	総合歯科診療部	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アドヒアランスの臨床経済的な長期影響の研究:AIとビッグデータの予測モデル開発	上月正博	内部障害リハ科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

本邦での妊娠中の抗凝固薬・抗血小板薬の投与実情についての調査	建部俊介	循環器内科	13,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シロスタゾールを用いたもやもや病における内因性幹細胞賦活と血管新生促進療法の開発	富永悌二	脳神経外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シロスタゾールを用いたもやもや病における内因性幹細胞賦活と血管新生促進療法の開発	新妻邦泰	医工学(神経外科)	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シロスタゾールを用いたもやもや病における内因性幹細胞賦活と血管新生促進療法の開発	麦倉俊司	放射線部	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シロスタゾールを用いたもやもや病における内因性幹細胞賦活と血管新生促進療法の開発	坂田洋之	脳神経外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層学習を活用した多面的病理学的検討による、小児期発症肺高血圧症の病態解明	正木直樹	心臓血管外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層学習を活用した多面的病理学的検討による、小児期発症肺高血圧症の病態解明	齋木佳克	心臓血管外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
患者由来癌モデルを用いた頭頸部癌薬物療法個別化への挑戦	石川智彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織ミトコンドリア機能に対するリハビリテーション運動療法の有効性の機序解明	上月正博	内部障害リハ科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝癌のチロシンキナーゼ阻害薬に対する耐性獲得機序の解明と耐性克服薬の探索	嘉数英二	消化器内科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会



運動療法による多発性嚢胞腎の進行抑制効果における腎交感神経とマイオカインの関与	上月正博	内部障害リハ科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対するMuse細胞を用いた新規治療法の開発	富永悌二	脳神経外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対するMuse細胞を用いた新規治療法の開発	RashadSherif	脳神経外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対するMuse細胞を用いた新規治療法の開発	新妻邦泰	医工学(神経外科)	4,810,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対するMuse細胞を用いた新規治療法の開発	下田由輝	脳神経外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脊髄損傷に対するMuse細胞を用いた新規治療法の開発	伊藤明	脳神経外科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所進行非小細胞肺癌に対する肺機能画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	角谷倫之	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所進行非小細胞肺癌に対する肺機能画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	神宮啓一	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唇顎口蓋裂患児・家族のQOL向上のための心理社会的影響の検討と多職種チーム構築	今井啓道	形成外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
縦断的解析による注意欠如・多動性障害発症の予測因子の解析	和田陽一	小児科	195,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	齋木佳克	心臓血管外科	39,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波併用脳内局所薬剤送達システムの臨床応用に向けた研究	富永悌二	脳神経外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波併用脳内局所薬剤送達システムの臨床応用に向けた研究	金森政之	脳神経外科	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム編集による抹消血を用いた網膜色素変性病原因遺伝子の発現解析法の開発	中澤徹	眼科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
産後うつ病の全ゲノム・メタボローム解析による病態解明とバイオマーカーの開発	富田博秋	精神科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
専門家レベルの緩和ケアAIプログラムの開発と検証～終末期の苦痛を一掃する	田上恵太	緩和医療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
国際医学物理ネットワークを軸とした放射線治療における先端技術の創出と普及	角谷倫之	放射線治療科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BNP分子型を用いたトランスレーショナルリサーチ	高濱博幸	循環器内科	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
社会的弱者を対象とする臨床研究時代の新たな研究倫理フレームワークの構築	高野忠夫	婦人科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ドナー肺の冷保存と体外肺灌流を組合わせた体外肺保存装置の開発と最適保存条件の検討	新井川弘道	呼吸器外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小児麻酔の気道確保時における危機的合併症と関連するリスク因子に関する研究	蔵谷紀文	麻酔科	32,500	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児麻酔の気道確保時における危機的合併症と関連するリスク因子に関する研究	海法悠	麻酔科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
喉頭全摘出者のQOL向上へつなげる看護体制の構築:RCTによる縦断的介入	鈴嶋よしみ	肢体不自由リハ科	156,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫逃避機構を応用した新たな肺移植の戦略	大石久	呼吸器外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療後患者の機能回復を目指した継続的多職種フォローアップモデルの有効性の検証	工藤大介	救急科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤耐性菌呼吸器感染に対する新規D-アミノ酸含有カチオン性抗菌ペプチドの治療開発	坂本泉	泌尿器科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
錯視定量化を基盤とした高齢入院患者の新規せん妄予測法の開発	海老原覚	内部障害リハ科	520,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯の中に照射の痕跡として残された炭酸ラジカル測定による低線量計測法の開発	高橋温	障がい者歯科治療部	130,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	大石久	呼吸器外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
持続肺換気保存法を用いたドナー肺機能改善と長時間肺保存法の開発	平間崇	呼吸器外科	65,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

能動的精密表面温度計測を用いた熱パルスレーザによる癌の生体内診断	藤村卓	皮膚科	455,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子育ての現象学:フィンランド・ネウボラをフィールドに	川崎唯史	臨床研究監理センター	1,013,847	補委	独立行政法人日本学術振興会
いわゆる言いがたいものの現象学:「フランス現象学」の生成と発展に関する研究	川崎唯史	臨床研究監理センター	201,198	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準ならびに患者のQOLの向上のための調査研究	仁尾正記	小児外科	16,900,000	補委	厚生労働省
認知症者における抑うつ・無気力に対する治療法に関するエビデンス構築を目指した研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,560,000	補委	厚生労働省
高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,000,000	補委	厚生労働省
救急医療等における基盤整備のための情報項目等の標準化に資する研究	久志本成樹	救急科	1,781,000	補委	厚生労働省
障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・高額分野の人材育成モデル構築に資する研究	出江紳一	医工学(リハ)	14,020,000	補委	厚生労働省
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究	金森肇	総合感染症科	1,300,000	補委	厚生労働省
透析情報の標準規格開発並びに透析診療施設間の連携を支援する標準化に関する研究	宮崎真理子	腎・高・内	1,300,000	補委	厚生労働省
次世代医療情報交換標準規格FHIRを用いたPHR統一プラットフォームの開発	中山雅晴	医学情報学分野	20,000,000	補委	厚生労働省
医療情報データベースの活用推進に関する研究	中山雅晴	医学情報学分野	6,040,000	補委	厚生労働省
希少難治性金疾患に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	26,650,000	補委	厚生労働省

難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	仁尾正記	小児外科	300,000	補 委	厚生労働省
神経変性疾患領域の基盤的調査研究	青木正志	脳神経内科	900,000	補 委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
スモンに関する調査研究	青木正志	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省
就労系障害福祉サービス事業所におけるテレワークによる就労の推進のための研究	藤川真由	てんかん科	250,000	補 委	厚生労働省
新生児スクリーニング対象疾患等の先天代謝異常症における生涯にわたる診療体制の整備に関する研究	植松有里佳	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
リアルワールド電子カルテ情報を用いた循環器病の再発・重症化・合併症のリスク因子の分析と介入の費用対効果	中山雅晴	医学情報学分野	800,000	補 委	厚生労働省
次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究	笹原洋二	小児科	200,000	補 委	厚生労働省
性分化・性成熟異常を伴う内分泌症候群(プラダーウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究	青木洋子	遺伝科	400,000	補 委	厚生労働省
糖尿病の実態把握と環境整備のための研究	田中哲洋	腎・高・内	300,000	補 委	厚生労働省
子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向けた実際の運用と課題の検討のための研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 委	厚生労働省
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究	大島謙吾	総合感染症科	450,000	補 委	厚生労働省
難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	和田基	小児外科	200,000	補 委	厚生労働省

自己免疫疾患に関する調査研究	石井智徳	臨床研究・実施部門	200,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	安田聡	循環器内科	300,000	補 委	厚生労働省
突発性造血障害に関する調査研究	張替秀郎	血液・免疫科	450,000	補 委	厚生労働省
稀少てんかんに関する包括的研究	神一敬	てんかん科	600,000	補 委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究	笹原洋二	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	笹原洋二	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	青木正志	脳神経内科	700,000	補 委	厚生労働省
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	青木正志	脳神経内科	200,000	補 委	厚生労働省
筋ジストロフィーの標準的医療普及のための調査研究	青木正志	脳神経内科	300,000	補 委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	正宗淳	消化器内科	800,000	補 委	厚生労働省
遺伝性骨髄不全症の登録システムの構築と診断基準・重症度分類・診療ガイドラインの確率に関する研究	張替秀郎	血液・免疫科	700,000	補 委	厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	井上淳	消化器内科	500,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	浅野善英	皮膚科	200,000	補 委	厚生労働省

副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	高瀬圭	放射線診断科	380,000	補 委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	石井智徳	臨床研究・実施部門	225,000	補 委	厚生労働省
関連学会の取組と連携したPROガイドラインの作成	鈴嶋よしみ	肢体不自由リハ科	300,000	補 委	厚生労働省
脳死下、心停止後の臓器・組織提供における効率的な連携体制の構築に資する研究	久志本成樹	救急科	400,000	補 委	厚生労働省
先天異常症候群のライフステージ全体の自然歴と合併症の把握:Reverse phenotypingを包含したアプローチ	青木洋子	遺伝科	950,000	補 委	厚生労働省
遺伝性白質疾患・知的障害をきたす疾患の診断・治療・研究システム構築	和田陽一	小児科	600,000	補 委	厚生労働省
慢性活動性EBV病の疾患レジストリ情報に基づく病型別根治療法の確立	笹原洋二	小児科	150,000	補 委	厚生労働省
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	200,000	補 委	厚生労働省
もやもや病(ウイルス動脈輪閉塞症)における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	富永悌二	脳神経外科	500,000	補 委	厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患患者における加熱式たばこの経年的な肺機能への影響に関する前向き観察研究	杉浦久敏	呼吸器内科	150,000	補 委	厚生労働省
痙攣性発生障害の疾患レジストリを活用した診療ガイドライン作成研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	70,000	補 委	厚生労働省
がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデルに構築する研究	田上恵太	緩和医療科	500,000	補 委	厚生労働省
現状の障害認定基準の課題の整理ならびに次期全国在宅障害児・者等実態調査の検討のための調査研究	正宗淳	消化器内科	1,400,000	補 委	厚生労働省

救急医療等における基盤整備のための情報項目等の標準化に資する研究	久志本成樹	救急科	1,085,000	補 委	厚生労働省
バイオテロ対策のための備蓄されている細胞培養痘そうワクチンの備蓄等、バイオテロ病原体への検査対応、公衆衛生との関	徳田浩一	総合感染症科	3,985,000	補 委	厚生労働省
ARO拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	富永悌二	病院 (臨床研究推進センター)	49,400,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発
国内外のDecentralized Trial 実施に当たっての課題及び対応策に関する研究	鈴木由香	病院 臨床研究推進センター	3,120,000	補 委	学校法人 東京理科大学
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	高野忠夫	病院 臨床研究監理センター	650,000	補 委	国立大学 法人大阪大学
医療分野研究開発の推進に資する研究倫理コンサルテーションの実装設備に向けた、専門家教育の高度化プログラム開発と資格制度の骨格設計	高野忠夫	病院 臨床研究監理センター	1,300,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究セン
データマネージャーへの調査、臨床研究者及びデータマネージャーの立場からの調査・検討	高田宗典	病院 臨床試験データセンター	1,170,000	補 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
アカデミア発革新的技術を活かした先端医療開発拠点の構築	張替秀郎	病院 臨床研究推進センター	80,238,540	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	張替秀郎	病院 臨床研究推進センター	161,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発
革新的技術を医療に応用する異分野融合型研究開発支援体制の構築	張替秀郎	病院 臨床研究推進センター	45,575,315	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発
拠点を基点とし、地域と世界をつなぐ hub and spoke 形成型拠点整備事業	富永悌二	病院 (臨床研究推進センター)	9,090,585	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発
臨床研究総合促進事業	富永悌二	病院 (臨床研究推進センター)	27,069,000	補 委	厚生労働省
①遠心性神経による臓器機能調節の実態解明とニューロン制御法の開発 ②糖尿病における脳血管の変容解明と制御	新妻邦泰	脳神経外科	26,000,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構



①恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服②末梢臓器情報を中枢に伝達する分子機序解明とその制御法の開発③中枢における情動-自律神経連関の神経回路解明とその制御法の開発④糖尿病における肝の変容解明とその制御⑤糖尿病超早期段階の予測法の開発と予後予測⑥糖尿病未病・超早期状態におけるデータセットの構築と解析	片桐秀樹	糖尿病代謝科	455,312,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
低CO2と低環境負荷を実現する微細藻バイオフィアインリーの創出	中川敦寛	スマートホスピタル推進室	2,024,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
活性イオウ分子種の抗酸化・抗炎症作用に基づく新規眼内灌流液の開発	中澤徹	眼科	64,428,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
マルチモーダルAIを用いた視覚指標による幸福度評価	中澤徹	眼科	39,000,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
経静脈的ラジオ波焼灼による原発性アルドステロン症の低侵襲根治療法	高瀬圭	放射線診断科	37,570,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳内広範囲薬剤送達システムの開発-塩酸ニムスチン局所投与による脳腫瘍治療法-	富永悌二	脳神経外科	51,801,100	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	張替秀郎	血液内科	117,650,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点	安田聡	循環器内科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
ARO拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	富永悌二	脳神経外科	49,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新規治療法の創出を目指した研究	青木正志	脳神経内科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
糖尿病性腎症の新規早期診断・予測判定マーカーの国際開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	藤村卓	皮膚科	104,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

重症気管支喘息に対する先制医療を実現するためのマルチオミックスを用いた探索的研究	杉浦久敏	呼吸器内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腎不全患者治療コホートを用いた腸内細菌および代謝物解析による新規腎不全治療に関する研究開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	28,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症気管支喘息に対する先制医療を実現するためのマルチオミックスを用いた探索的研究	杉浦久敏	呼吸器内科	54,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新規遺伝性膵炎原因遺伝子TRPV6変異による膵炎発症機序の解明と治療応用	正宗淳	消化器内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
リン脂質を調節する新規動脈硬化抑制経路を介した動脈防御戦略の国際共同研究	豊原敬文	腎・高血圧・内分泌科	21,450,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検証する第Ⅲ相試験	張替秀郎	血液内科	65,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
フィンガービジョンと光学的触覚計測による眼科疾患遠隔診断治療装置の開発	中澤徹	眼科	49,393,981	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
非閉塞性冠動脈疾患患者における冠動脈機能の性差に関する研究開発	高橋潤	循環器内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高齢者総合機能評価(CGA)ガイドラインの作成研究	海老原覚	内部障害リハ科	600,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	齋木佳克	心臓血管外科	11,615,175	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ヌーナン症候群類縁疾患の診断・診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出研究	青木洋子	遺伝科	12,870,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Dysterlinopathyおよび類似疾患の遺伝子解析と結合蛋白に注目した病態・治療研究	青木正志	脳神経内科	400,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化第Ⅲ相試験	福原規子	血液内科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
RASopathies新規原因遺伝子検索と患者登録研究	青木洋子	遺伝科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター

個別化医療を実現するAI・ビッグデータ活用と循環器疾患発症・重症化予測	安田聡	循環器内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
パーソナルヘルスレコードによる生活習慣病合併心血管病患者の診療の質向上を目指した研究	後岡広太郎	循環器内科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層オミックス解析による個別化緑内障創薬	中澤徹	眼科	30,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層オミックス解析による個別化緑内障創薬	中澤徹	眼科	30,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
免疫調節治療を要する患者の安全な妊娠・出産を実現するためのエビデンス構築	角田洋一	消化器内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性肝疾患患者と一般住民の血中アミノ酸プロファイルに基づくサルコペニア・リスクスコアの確立と栄養介入療法の開発(21A2009)	井上淳	消化器内科	500,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
ミトコンドリア分子連関を介した重点感染症の治療薬開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
胎児治療介入技術の研究開発におけるELSI/IRRI及び技術的課題に関する検討	高野忠夫	婦人科	2,340,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
全世代対応型遠隔メンタルヘルスケアシステム(KOKOTOBO-J)によるメンタルヘルスプラットフォームの開発・社会実装拠点に関する東北大学による研究開発	富田博秋	精神科	2,080,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
網膜中心動脈閉塞症に対する神経保護薬の開発のための患者レジストリの構築及び早期第Ⅱ相臨床試験	中澤徹	眼科	239,542,706	補 委	千寿製薬株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
全身性エリテマトーデス(SLE)の自然免疫系と自己免疫系の連関に中心的に関与する因子を特定するための臨床研究	石井智徳	血液内科	12,337,000	補 委	エーザイ株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
精神症状を伴う月経前症候群/月経前不快気分障害患者に対するピロドキサミンの臨床開発	八重樫伸生	婦人科	21,490,313	補 委	株式会社レナサイエンス(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

慢性肝疾患患者と一般住民の血中アミノ酸プロファイルに基づくサルコペニア・リスクスコアの確立と栄養介入療法の開発	井上淳	消化器内科	500,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
膵・胆道がん全ゲノム解析データ・臨床情報の収集・共有・患者還元・創薬開発	海野倫明	肝・胆・膵外科	6,498,648	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高品質のIRB審査の基盤となるIRBクラブの設立およびIRB運用ハンドブックの作成と普及に関する研究	高野忠夫	婦人科	650,000	補 委	国立大学法人大阪大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医療分野研究開発の推進に資する研究倫理コンサルテーションの実装配備に向けた、専門家教育の高度化プログラム開発と資格制度の骨格設計	高野忠夫	婦人科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
データマネージャーへの調査、臨床研究者及びデータマネージャーの立場からの調査・検討	高田宗典	臨床試験データセンター	1,170,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
標準化電子ワークシートを核とした分散型臨床試験のシステム・運用両面からの構築	池田浩治	臨床研究推進センター	28,501,000	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
ハイドロゲルを基材とする頭蓋内有機物電極の開発	中川敦寛	スマートホスピタル推進室	35,825,004	補 委	株式会社ユニークメディカル(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医師主導治験の実施、観察研究の実施	齋木佳克	心臓血管外科	1,300,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

MAFLD における臓器連関とミトコンドリア機能活性化による治療戦略	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
聴覚情報処理障害診断と支援の手引の作成	川瀬哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	143,000	補 委	公立大学法人大阪(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
近赤外蛍光を用いた誤嚥リスク検出装置の開発	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,860,000	補 委	国立大学法人電気通信大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
アカデミアシーズの実用化に向けた研究開発体制における研究マネジメント人材の育成システム開発に関する研究	笠井宏委	臨床研究推進センター	1,040,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	中澤徹	眼科	5,689,800	補 委	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
脊髄悪性神経膠腫を対象とした光線力学療法の開発研究	佐藤綾耶	脳神経外科	57,850,000	補 委	学校法人東北医科薬科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
中央診断とモニタリング	張替秀郎	血液内科	650,000	補 委	国立大学法人福井大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
インドネシアでの、てんかん診療の質向上をめざしたデジタル脳波のワイドバンド成分の記録解析普及の実装研究	中里信和	てんかん科	325,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

慢性血栓塞栓性肺高血圧症における肺動脈バルーン形成術の医療の質評価及びフィードバックシステムを構築する社会実装研究	安田聡	循環器内科	130,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムソズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性を評価する研究	横山寿行	血液内科	130,000	補 委	国立大学法人長崎大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	富田博秋	精神科	299,999	補 委	学校法人東邦大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
難プラ標準レジストリーを使用し、新生児マスキング対象疾患等の遺伝子変異を考慮したガイドライン改定に向けたエビデンス創出研究	和田陽一	小児科	559,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
子宮頸癌I B期-118期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法との第III相ランダム化比較試験	島田宗昭	婦人科	65,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	青木洋子	遺伝科	7,020,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
全身性強皮症に対する抗線維症活性分子群の創出	浅野善英	皮膚科	5,850,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究	後岡広太郎	循環器内科	130,000	補 委	国立大学法人大阪大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

急性心筋梗塞や他臓器虚血の原因となる特発性冠動脈解離の診断基準策定・診療実態ならびに予後についての臨床エビデンスを創出する研究	安田聡	循環器内科	650,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
将来の創薬を念頭に置いた心不全発症・増悪リスク層別化マーカーの開発	後岡広太郎	循環器内科	2,080,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	吉田新一郎	整形外科	390,000	補 委	国立大学法人岡山大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
国内外のDecentralized Trial実施に当たっての課題及び対応策に関する研究	鈴木由香	臨床研究推進センター	3,120,000	補 委	学校法人東京理科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究	富永悌二	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
対面診療に比したオンライン診療の非劣性試験: COVID-19によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証	富田博秋	精神科	1,300,000	補 委	学校法人慶應義塾(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
前立腺癌に対するMR画像誘導即時適応定位放射線治療の臨床応用を目指す研究	神宮啓一	放射線診断科	1,300,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
慢性腎臓病を合併した冠動脈疾患ペリーハイリスク患者の心血管イベント抑制を目的とした冠動脈MRプラークイメージングの有効性を検証する多施設前向き無作為化対照試験	高瀬圭	放射線診断科	585,000	補 委	国立大学法人東海国立大学機構国立循環器病研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

精神疾患を持つ人が社会生活目標達成を図るためのWHOのICFモデルに準拠し当事者と評価者の共同を重視した強みと弱点の評価尺度開発研究	鈴鴨よしみ	肢体不自由リハ科	429,000	補 委	公立大学法人 福島県立医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究:革新的臨床試験システムを用いた多相最適化戦略試験	井上彰	緩和医療科	260,000	補 委	公立大学法人 名古屋市立大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋雅信	腫瘍内科	845,000	補 委	国立大学法人 大分大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究	正宗淳	消化器内科	100,000	補 委	公益財団法人 宮城県対がん協会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
臨床試験統括と検体収集	横山寿行	血液内科	104,000	補 委	国立大学法人 東海国立大学機構(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
MAFLDにおける臓器連関とミトコンドリア機能活性化による治療戦略	井上淳	消化器内科	650,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
MAFLDにおける臓器連関とミトコンドリア機能活性化による治療戦略	片桐秀樹	糖尿病代謝科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	福原規子	血液内科	1,300,000	補 委	国立大学法人 山形大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)



全ゲノム解析による難治性卵巣がんの本態解明と新規治療標的の同定	八重樫伸生	婦人科	1,300,000	補 委	公益財団法人がん研究会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	金森政之	脳神経外科	260,000	補 委	学校法人北里研究所(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	徳永英樹	婦人科	1,040,000	補 委	国家公務員共済組合連合会虎の門病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	島田宗昭	婦人科	325,000	補 委	学校法人昭和大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
肉腫・脳腫瘍などの希少がんを対象としたゲノム解析による予防法・診断法・治療法の開発	吉田新一郎	整形外科	6,500	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
オールジャパン拡張型心筋症ゲノムコホート研究によるゲノム医療の発展	後岡広太郎	循環器内科	650,000	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
膵・胆道がんサンプルおよび臨床情報の収集	海野倫明	肝・胆・膵外科	1,352	補 委	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験	石井智徳	血液内科	390,000	補 委	学校法人東京女子医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

「オンサイト被験者検査・被験者募集	富田尚希	老年科	1,560,000	補 委	国立大学法人 東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
肉腫・脳腫瘍などの希少がんを対象としたゲノム解析による予防法・診断法・治療法の開発	吉田新一郎	整形外科	1,293,500	補 委	国立大学法人 東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
レジストリを活用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエドキサバンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	安田聡	循環器内科	3,120,000	補 委	国立大学法人 九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	徳永英樹	婦人科	390,000	補 委	国立大学法人 千葉大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対する化学療法併用放射線治療の低侵襲化に関する研究開発	金森政之	脳神経外科	260,000	補 委	国立大学法人 京都大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査及び実証研究	中山雅晴	医学系研究科	260,000	補 委	国立大学法人 九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	佐藤康弘	心療内科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
改良型CRISISを用いたCOVID-19患者の臨床エビデンス構築と診療・医療機器開発支援	久志本成樹	救急科	650,000	補 委	国立大学法人 広島大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発:革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験	石田孝宣	乳腺・内分泌科	260,000	補 委	公立大学法人 名古屋市立大学 (国立研究 開発法人日本 医療研究開発 機構)
卵巣癌早期発見のためのAI血液診断モデルの開発ー癌関連糖蛋白と網羅的血清糖ペプチドピークデータを用いてー	島田宗昭	婦人科	130,000	補 委	学校法人東海 大学(国立研 究開発法人日 本医療研究開 発機構)
BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	小峰啓吾	腫瘍内科	1,300,000	補 委	国立研究開発 法人国立がん 研究センター (国立研究開 発法人日本医 療研究開発機 構)
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+) 進行非小細胞肺癌(NSCLC) 初回オンメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究	齋藤良太	呼吸器内科	609,400	補 委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床研究情報収集に関する研究	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 委	国立研究 開発法人 国立国際 医療研究 センター
超ハイリスク基準群における生体情報評価及びサイトカイン測定による統合失調症の発現予測因子の探索研究	富田博秋	精神科	1,481,040	補 委	国立研究 開発法人 精神・神経 医療研究 センター・ 精神科・富 田
切除不能胞巣状軟部肉腫に対するアテゾリズマブ療法の多施設共同第II相医師主導治験	高橋雅信	腫瘍内科	800,000	補 委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
繰返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の子後に関する前向きコホート研究:再入院や死亡に関する影響を検討する縦断的観察研究	鈴木秀明	循環器内科	1,705,000	補 委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター

内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用	大沼忍	胃腸外科	50,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
PRUM-IBio study 免疫組織化学的バイオマーカーによる子宮間葉性腫瘍の予後予測法の確立に関する研究	徳永英樹	婦人科	300,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立病院 機構京都 医療セン ター
繰返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の前向きコホート研究:再入院や死亡に関する影響を検討する縦断的観察研究	安田聡	循環器内科	1,892,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター
再発/治療抵抗性NK/T細胞リンパ腫-鼻型に対するアテゾリズマブの第Ⅱ相医師主導治験	福原規子	血液・免疫科	400,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立がん 研究セン ター
切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome (ePro)モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験	西條憲	腫瘍内科	55,000	補 ⑤委	公益社団 法人パブ リックヘル スセンター
デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした新たな患者レジストリを構築するための研究	植松貢	小児科	242,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立精神・ 神経医療 研究セン ター
2次化学療法実施中の切除不能肺癌患者におけるElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO)を用いたQOL調査研究〔QOL-ePAC〕	三浦孝之	肝・胆・膵外科	55,000	補 ⑤委	公益財団 法人パブ リックヘル スリサーチ センター
生体弁置換術後の抗凝固療法における直接経口抗凝固薬エドキサバンの有効性および安全性に関する他施設共同無作為化比較試験	齋木佳克	心臓血管外科	2,200,000	補 ⑤委	国立研究 開発法人 国立循環 器病研究 センター

完全切除されたリンパ節転移陰性の非小細胞肺癌(>2cm)患者に対する、UFTを用いた術後補助化学療法におけるEGFR遺伝子変異の影響:CSPOR-LC03試験副次解析としての多施設共同後ろ向き観察研究	岡田克典	呼吸器外科	157,300	補  ○委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
--	------	-------	---------	-------------	------------------------

計 474件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なも
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
  - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	著頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shigeta, S.   Watanabe, Y.   Suzuki, F. et al.	婦人科	MicroRNA-152 Regulates Endometrial Serous Carcinoma Cell Motility by Suppressing Matrix Metalloproteinase 10 Expression	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
2	Hirama, T.   Akiba, M.   Watanabe, T. et al.	呼吸器外科	Waitlist Mortality in Lung Transplant Candidates in Japan	Transplantation.	Original Article
3	Hirama, T.   Akiba, M.   Shundo, Y. et al.	呼吸器外科	Efficacy and safety of mRNA SARS-CoV-2 vaccines in lung transplant recipients	Journal of Infection and Chemotherapy	Original Article
4	Watanabe, T.   Kawashima, M.   Kohno, M. et al.	呼吸器外科	Outcomes of lung transplantation from organ donation after medical assistance in dying: First North American experience	American Journal of Transplantation	Original Article
5	Uno, K.   Koike, T.   Hatta, W. et al.	消化器内科	Development of Advanced Imaging and Molecular Imaging for Barrett's Neoplasia	Diagnostics	Review
6	Hatta, W.   Koike, T.   Uno, K. et al.	消化器内科	Management of Superficial Esophageal Squamous Cell Carcinoma and Early Gastric Cancer following Non-Curative Endoscopic Resection	Cancers	Review
7	Hatta, W.   Gotoda, T.   Koike, T. et al.	消化器内科	Is Additional Gastrectomy Required for Elderly Patients after Endoscopic Submucosal Dissection with Endoscopic Curability C-2 for Early Gastric Cancer?	Digestion	Review
8	Nishigori, H.   Obara, T.   Nishigori, T. et al.	臨床研究監理センター	Prenatal folic acid supplementation and autism spectrum disorder in 3-year-old offspring: the Japan environment and children's study	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine	Original Article
9	Shiga, N.   Yamaguchi-Kabata, Y.   Igeta, S. et al.	周産母子センター	Pathological variants in genes associated with disorders of sex development and central causes of hypogonadism in a whole-genome reference panel of 8380 Japanese individuals	Human Genome Variation	Original Article
10	Maekawa, S.   Sato, K.   Kokubun, T. et al.	眼科	A Plant-Derived Antioxidant Supplement Prevents the Loss of Retinal Ganglion Cells in the Retinas of NMDA-Injured Mice	Clinical Ophthalmology	Original Article
11	Numakura, T.   Murakami, K.   Tamada, T. et al.	呼吸器内科	A Novel Development of Sarcoidosis Following COVID-19 Vaccination and a Literature Review	Internal Medicine	Review
12	Komatsu, H.   Onoguchi, G.   Jerotic, S. et al.	精神科	Retinal layers and associated clinical factors in schizophrenia spectrum disorders: a systematic review and meta-analysis	Molecular Psychiatry	Review
13	Oshima, K.   Nakajima, C.   Hirata, K. et al.	総合感染症科	Disseminated tuberculosis with paradoxical reactions caused by a Mycobacterium tuberculosis strain belonging to the Indo-Oceanic lineage: An imported case in Japan	Journal of Infection and Chemotherapy	Original Article
14	Sano, H.   Murakami, K.   Yokoyama, H. et al.	呼吸器内科	COVID-19 in a Hairy Cell Leukemia Patient: A Rare Case Report	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
15	Inoue, J.   Kobayashi, T.   Akahane, T. et al.	消化器内科	Non-Achievement of Alanine Aminotransferase Normalization Associated with the Risk of Hepatocellular Carcinoma during Nucleos(t)ide Analogue Therapies: A Multicenter Retrospective Study	Journal of Clinical Medicine	Original Article
16	Nakagawa, A.   Endo, T.   Kawaguchi, T. et al.	産学連携室	Piezo Actuator-Driven Pulsed Water Jet for Neurosurgery: Laboratory Evaluation with the Swine Model and Implications of Mechanical Properties	Journal of Neurological Surgery, Part A: Central European Neurosurgery	Original Article

17	Imai, H.   Saijo, K.   Komine, K. et al.	腫瘍内科	Antibiotic Treatment Improves the Efficacy of Oxaliplatin-Based Therapy as First-Line Chemotherapy for Patients with Advanced Gastric Cancer: A Retrospective Study	Cancer Management and Research	Original Article
18	Amagai, R.   Kambayashi, Y.   Ohuchi, K. et al.	皮膚科	Cutaneous T cell lymphoma treated with mogamulizumab monotherapy and mogamulizumab plus etoposide combined therapy: A real-world case series	Dermatologic Therapy	Original Article
19	Oshima, K.   Kanamori, H.   Takei, K. et al.	総合感染症科	Severe coronavirus disease 2019 in a patient with TAFRO syndrome: A case report	Clinical Infection in Practice	Original Article
20	Murakami, K.   Sano, H.   Tode, N. et al.	呼吸器内科	Clinical features of COVID-19 patients with rebound phenomenon after corticosteroid therapy	BMJ Open Respiratory Research	Original Article
21	Kamada, H.   Nakamura, M.   Ota, H. et al.	放射線診断科	Blood flow analysis with computational fluid dynamics and 4D-flow MRI for vascular diseases	Journal of Cardiology	Review
22	Ota, H.   Kamada, H.   Higuchi, S. et al.	メディカルITセンター	Clinical Application of 4D Flow MR Imaging to Pulmonary Hypertension	Magnetic Resonance in Medical Sciences	Review
23	Kamada, H.   Ota, H.   Nakamura, M. et al.	放射線診断科	Quantification of vortex flow in pulmonary arteries of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension	European Journal of Radiology	Original Article
24	Takahashi, N.   Takeeda, K.   Suzuki, Y. et al.	放射線部	A case of COVID-19 vaccination during radiotherapy for breast cancer	Journal of the Egyptian National Cancer Institute	Original Article
25	Yamamoto, T.   Katagiri, Y.   Tsukita, Y. et al.	放射線治療科	Stereotactic Radiosurgery for Lung Cancer with a Risk-Adapted Strategy Using the Volumetric Modulated Arc Therapy Technique: A Single Arm Phase II Study	Cancers	Original Article
26	Yamamoto, T.   Katsuta, Y.   Sato, K. et al.	放射線治療科	Longitudinal analyses and predictive factors of radiation-induced lung toxicity-related parameters after stereotactic radiotherapy for lung cancer	PLoS ONE	Original Article
27	Yamamoto, T.   Tsukita, Y.   Katagiri, Y. et al.	放射線治療科	Durvalumab after chemoradiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer: prolonged distant metastasis-free survival, progression-free survival and overall survival in clinical practice	BMC Cancer	Original Article
28	Takahashi, N.   Umezawa, R.   Kishida, K. et al.	放射線部	Clinical outcomes and prognostic factors for esophageal cancer in patients aged 80 years or older who were treated with definitive radiotherapy and chemoradiotherapy	Esophagus	Original Article
29	Kohata, M.   Imai, J.   Izumi, T. et al.	糖尿病代謝・内分泌内科	Roles of FoxM1-driven basal $\beta$ -cell proliferation in maintenance of $\beta$ -cell mass and glucose tolerance during adulthood	Journal of Diabetes Investigation	Original Article
30	Murakami, K.   Tamada, T.   Saigusa, D. et al.	呼吸器内科	Urine autotaxin levels reflect the disease activity of sarcoidosis	Scientific Reports	Original Article
31	Miyauchi, E.   Morita, S.   Nakamura, A. et al.	呼吸器内科	Updated Analysis of NEJ009: Gefitinib-Alone Versus Gefitinib Plus Chemotherapy for Non-Small-Cell Lung Cancer With Mutated EGFR	Journal of Clinical Oncology	Original Article
32	Fukuzawa, T.   Yamaki, S.   Irie, M. et al.	小児外科	Immature ovarian teratoma with pseudo-Meigs syndrome and gliomatosis peritonei	Journal of Pediatric Surgery Case Reports	Original Article
33	Fukuzawa, T.   Endo, Y.   Irie, M. et al.	小児外科	Type II pleuropulmonary blastoma with DICER1 mutation	Journal of Pediatric Surgery Case Reports	Original Article
34	Shigeta, S.   Shimada, M.   Tsuji, K. et al.	婦人科	Risk assessment in the patients with uterine cervical cancer harboring intermediate risk factors after radical hysterectomy: a multicenter, retrospective analysis by the Japanese Gynecologic Oncology Group	International Journal of Clinical Oncology	Original Article
35	Ohkoshi, A.   Ikeda, R.   Suzuki, J. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Eustachian Tube Functions in Concurrent Chemoradiotherapy for Head and Neck Cancer Patients	Indian Journal of Otolaryngology and Head and Neck Surgery	Original Article

36	Codo, S.   Hasebe, Y.   Takahashi, J. et al.	循環器内科	Isolated cardiac sarcoidosis associated with coronary vasomotion abnormalities: A case report	European Heart Journal - Case Reports	Original Article
37	Katsuta, Y.   Kadoya, N.   Sugai, Y. et al.	放射線部	Feasibility of Differential Dose-Volume Histogram Features in Multivariate Prediction Model for Radiation Pneumonitis Occurrence	Diagnostics	Original Article
38	Katsuta, Y.   Kadoya, N.   Mouri, S. et al.	放射線部	Prediction of radiation pneumonitis with machine learning using 4D-CT based dose-function features	Journal of Radiation Research	Original Article
39	Omordaka, S.   Endo, H.   Nizuma, K. et al.	脳神経外科	Wall enhancement in unruptured posterior communicating aneurysms with oculomotor nerve palsy on magnetic resonance vessel wall imaging	Journal of Neurosurgery	Original Article
40	Iseki, M.   Mizuma, M.   Aoki, S. et al.	肝・胆・膵外科	What is the impact of zinc deficiency for pancreatocatomies in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma?	Pancreatology	Original Article
41	Umetu, M.   Akamatsu, D.   Goto, H. et al.	卒後研修センター	Successful Treatment of Giant Common and Proper Hepatic Artery Aneurysm Complicating Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease	Annals of Vascular Surgery	Original Article
42	Sekiguchi, Y.   Honda, K.   Izumi, S.-I.	リハビリテーション・リハビリテーション部門	Effect of Walking Adaptability on an Uneven Surface by a Stepping Pattern on Walking Activity After Stroke	Frontiers in Human Neuroscience	Original Article
43	Koyama, S.   Izumita, K.   Sato, N. et al.	顎顔面口腔再建治療部	Medical-Dental Collaboration and Interprofessional Training for Maxillofacial Diseases at Tohoku University Hospital	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
44	Bando, K.   Tanaka, Y.   Takahashi, T. et al.	矯正歯科	Histamine acts via H4-receptor stimulation to cause augmented inflammation when lipopolysaccharide is co-administered with a nitrogen-containing bisphosphonate	Inflammation Research	Original Article
45	Sato, A.   Yajima, T.   Tachiya, D. et al.	薬剤部	Innervation of the human minor salivary glands; immunohistochemical study for neurochemical substances	Tissue and Cell	Original Article
46	Yanagisawa, Y.   Shimizu, Y.   Mukai, T. et al.	歯科顎口腔外科	Biodegradation behaviors of magnesium(Mg)-based alloy nails in autologous bone grafts: In vivo study in rabbit skulls	Journal of Applied Biomaterials and Functional Materials	Original Article
47	Sasaki, K.   Takeshita, N.   Fukunaga, T. et al.	矯正歯科	Vibration accelerates orthodontic tooth movement by inducing osteoclastogenesis via transforming growth factor- $\beta$ signalling in osteocytes	European Journal of Orthodontics	Original Article
48	Wada, Y.   Arai-Ichinoi, N.   Kikuchi, A. et al.	小児科	$\beta$ -Galactosidase therapy can mitigate blood galactose elevation after an oral lactose load in galactose mutarotase deficiency	Journal of Inherited Metabolic Disease	Original Article
49	Soga, T.   Suzuki, N.   Kato, K. et al.	てんかん科	Long-term outcomes after surgery to prevent aspiration for patients with amyotrophic lateral sclerosis	BMC Neurology	Original Article
50	Ito, K.   Ishida, H.   Fujishima, F. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Murine Double Minute 2 Antagonist Nutlin-3 Enhanced Chemosensitivity in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Research	Original Article
51	Aoki, S.   Inoue, K.   Klein, S. et al.	肝・胆・膵外科	Placental growth factor promotes tumour desmoplasia and treatment resistance in intrahepatic cholangiocarcinoma	Gut	Original Article
52	Saijo, K.   Imai, H.   Katayama, H. et al.	腫瘍内科	BRAF and MEK Inhibitor Treatment for Metastatic Undifferentiated Sarcoma of the Spermatic Cord with BRAF V600E Mutation	Case Reports in Oncology	Original Article
53	Ouchi, K.   Takahashi, S.   Okita, A. et al.	がんセンター	A modified MethylLight assay predicts the clinical outcomes of anti-epidermal growth factor receptor treatment in metastatic colorectal cancer	Cancer Science	Original Article
54	Okamoto, H.   Taniyama, Y.   Sakurai, T. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Perioperative Administration of Cystine and Thiamine Suppresses Inflammation and Facilitates Early Rehabilitation and Recovery after Esophagectomy: A Randomized, Double-Blind, Controlled Clinical Trial	Nutrients	Original Article



55	Okamoto, H.   Taniyama, Y.   Sato, C. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Definitive Chemoradiotherapy with Docetaxel, Cisplatin, and 5-Fluorouracil for Advanced Cervical Esophageal Cancer: A Medium-Term Outcome	Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	Original Article
56	Ono, K.   Fujiwara, T.   Saito, K. et al.	輸血・細胞治療部	Congenital sideroblastic anemia model due to ALAS2 mutation is susceptible to ferroptosis	Scientific Reports	Original Article
57	Ichikawa, S.   Fukuhara, N.   Saito, K. et al.	血液内科	Diffuse Large B-cell Lymphoma Presenting as Peritoneal Lymphomatosis: A Case Report and Literature Review	Internal Medicine	Review
58	Ichikawa, S.   Fukuhara, N.   Doman, T. et al.	血液内科	Al leukemic T-lymphoblastic leukemia/lymphoma with massive cerebrospinal fluid infiltration	Journal of Hematopathology	Original Article
59	Sasaki, K.   Fujiwara, T.   Ochi, T. et al.	臨床検査部門(検査)	TN5614, an Inhibitor of Plasminogen Activator Inhibitor-1, Exerts an Antitumor Effect on Chronic Myeloid Leukemia	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
60	Onishi, Y.   Onodera, K.   Fukuhara, N. et al.	血液内科	Unrelated cord blood transplantation for adult-onset EBV-associated T-cell and NK-cell lymphoproliferative disorders	International Journal of Hematology	Original Article
61	Mori, Y.   Kanabuchi, R.   Baba, K. et al.	整形外科	Evaluation of the usefulness of the Synovasure alpha-defensin lateral flow test kit for the diagnosis of periprosthetic joint infection in Japanese patients	Journal of Orthopaedic Science	Original Article
62	Arita, R.   Ono, R.   Saito, N. et al.	総合地域医療教育支援部	Refractory Chest Pain in Mild to Moderate Coronavirus Disease 2019 Successfully Treated with Saikanto, a Japanese Traditional Medicine	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
63	Shimoda, Y.   Beppu, K.   Ikoma, Y. et al.	脳神経外科	Optogenetic stimulus-triggered acquisition of seizure resistance	Neurobiology of Disease	Original Article
64	Takikawa, T.   Hamada, S.   Matsumoto, R. et al.	消化器内科	Senescent Human Pancreatic Stellate Cells Secrete CXCR2 Agonist CXCLs to Promote Proliferation and Migration of Human Pancreatic Cancer AsPC-1 and MIAPaCa-2 Cell Lines	International Journal of Molecular Sciences	Original Article
65	Takikawa, T.   Kikuta, K.   Hamada, S. et al.	消化器内科	A New Preoperative Scoring System for Predicting Aggressiveness of Non-Functioning Pancreatic Neuroendocrine Neoplasms	Diagnostics	Original Article
66	Takikawa, T.   Kikuta, K.   Hamada, S. et al.	消化器内科	Clinical features and prognostic impact of asymptomatic pancreatic cancer	Scientific Reports	Original Article
67	Sasaki, K.   Ota, H.   Miyagi, S. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Novel technique for recanalization of severe hepaticojunal obstruction using a transseptal needle in a pediatric liver transplant recipient	Pediatric Transplantation	Original Article
68	Ishikawa, H.   Kurokawa, D.   Muraki, T. et al.	リハビリテーション・シオン部門	Increased external rotation related to the soft tissues is associated with pathologic internal impingement in high-school baseball players	Journal of Shoulder and Elbow Surgery	Original Article
69	Abe, M.   Akashi, T.   Ishizawa, K. et al.	総合地域医療教育支援部	A massive natural disaster, the Great East Japan Earthquake, and the incidence of dialysis due to end-stage kidney disease	Journal of Nephrology	Original Article
70	Sato, C.   Sato, H.   Kamei, T. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Characteristics of patients with esophageal motility disorders on high-resolution manometry and esophageography—a large database analysis in Japan	Esophagus	Original Article
71	Miyauchi, C.M.   Takeuchi, H.   Taki, Y. et al.	SmartHospital推進室	Shame proneness is associated with individual differences in temporal pole white matter structure	Social Neuroscience	Original Article
72	Moroi, R.   Shiga, H.   Nochioka, K. et al.	消化器内科	A pilot study investigating the safety and feasibility of endoscopic dilation using a radial incision and cutting technique for benign strictures of the small intestine: a study protocol	Pilot and Feasibility Studies	Original Article
73	Nochioka, K.   Yasuda, S.   Sakata, Y. et al.	開発推進部門	Prognostic impact of a history of cancer and atrial fibrillation in antithrombotic therapy for chronic heart failure	ESC Heart Failure	Original Article

74	Moroi, R.   Shiga, H.   Nochioka, K. et al.	消化器内科	Endoscopic radial incision and cutting for benign stenosis of the lower gastrointestinal tract: An investigation of novel endoscopic treatment in multicenter trial	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
75	Tsuchiya, S.   Tsuchiya, M.   Momma, H. et al.	顎口腔機能治療部	Neurodevelopmental trajectories in children with cleft lip and palate: A longitudinal study based on the Japan Environment and Children's Study	European Journal of Oral Sciences	Original Article
76	Tsuchiya, S.   Tsuchiya, M.   Momma, H. et al.	顎口腔機能治療部	Influence of maternal postpartum depression on children's toothbrushing frequency	Community Dentistry and Oral Epidemiology	Original Article
77	Tsuchiya, S.   Tsuchiya, M.   Momma, H. et al.	顎口腔機能治療部	Prospective association between maternal bonding disorders and child toothbrushing frequency: A cross-sectional study of the Japan Environment and Children's Study	International Journal of Paediatric Dentistry	Original Article
78	Ichikawa, S.   Fukuhara, N.   Hashimoto, K. et al.	血液内科	Anaplastic multiple myeloma with MYC rearrangement	Leukemia Research Reports	Original Article
79	Shiga, H.   Tarasawa, K.   Moroi, R. et al.	消化器内科	Long-term effectiveness of ustekinumab comparable to antitumor necrosis factor agents in patients with Crohn's disease	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
80	Yoda, N.   Abe, Y.   Suenaga, Y. et al.	咬合回復科	Resin Cement-Zirconia Bond Strengthening by Exposure to Low-Temperature Atmospheric Pressure Multi-Gas Plasma	Materials	Original Article
81	Otake, Y.   Nogami, S.   Chiba, M. et al.	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	Low level gap arthroplasty using ultrasonic bone-cutting device for recurrent temporomandibular joint ankylosis - Case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
82	Suzuki, H.   Nogami, S.   Hoshi, K. et al.	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	Characteristic clinical features of maxillofacial injuries encountered over 16-year period - Retrospective study	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Original Article
83	Noguchi, T.   Kitaura, H.   Marahleh, A. et al.	矯正歯科	Tumor necrosis factor- $\alpha$ enhances the expression of vascular endothelial growth factor in a mouse orthodontic tooth movement model	Journal of Dental Sciences	Original Article
84	Tsukita, Y.   Inoue, A.	呼吸器内科	First-line therapy in non-small cell lung cancer patients with EGFR activating mutations: a consideration of the clinical position of osimertinib based on the subset of Japanese patients in the FLAURA study	Japanese Journal of Clinical Oncology	Review
85	Irie, M.   Nakano, T.   Katayama, S. et al.	小児腫瘍科	Clofarabine monotherapy in two patients with refractory Langerhans cell histiocytosis	Cancer Reports	Original Article
86	Moroi, R.   Yano, K.   Tarasawa, K. et al.	消化器内科	The Impact of Concomitant Ulcerative Colitis on the Clinical Course in Patients with Primary Sclerosing Cholangitis: An Investigation Using a Nationwide Database in Japan	Inflammatory Intestinal Diseases	Original Article
87	Ishii, R.   Ohkoshi, A.   Kiyota, N. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Management of elderly patients with head and neck cancer	Japanese Journal of Clinical Oncology	Review
88	Ohkoshi, A.   Ogawa, T.   Kato, K. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Simple Endoscopic Method of Scoring Swallowing Function After Treatment in Advanced Head and Neck Cancer Patients	Indian Journal of Otolaryngology and Head and Neck Surgery	Original Article
89	Kojima, I.   Takanami, K.   Ogawa, T. et al.	顎口腔画像診断科	High diagnostic accuracy for lymph node metastasis of oral squamous cell carcinoma using PET/CT with a silicon photomultiplier	Oral Radiology	Original Article
90	Fujio, A.   Usuda, M.   Hara, Y. et al.	移植・再建・内視鏡外科	Usefulness of Preoperative Controlling Nutritional Status in Predicting Prolonged Hospitalization and Incidence of Postoperative Delirium for Elderly Hepatectomy with Hepatocellular Carcinoma	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
91	Katahira, S.   Sugimura, Y.   Mehdiani, A. et al.	心臓血管外科	Coronary artery bypass grafting under sole Impella 5.0 support for patients with severely depressed left ventricular function	Journal of Artificial Organs	Original Article
92	Miura, T.   Sakuyama, A.   Xu, L. et al.	リハビリテーション科	Febuxostat ameliorates high salt intake-induced hypertension and renal damage in Dahl salt-sensitive rats	Journal of Hypertension	Original Article

93	Shiga, H.   Abe, I.   Kusaka, J. et al.	消化器内科	Capsule Endoscopy Is Useful for Postoperative Tight Control Management in Patients with Crohn's Disease	Digestive Diseases and Sciences	Original Article
94	Onishi, E.   Saito, K.   Kumagai, M. et al.	手術部	Evaluation of contrast-enhanced ultrasonography with Sonoazoid® in visualization of local anesthetic distribution in rectus sheath block: a prospective, clinical study	Journal of Anesthesia	Original Article
95	Moroi, R.   Tarasawa, K.   Shimoyama, Y. et al.	消化器内科	Effectiveness of colonic stent placement for obstructive colorectal cancers: An analysis of short-term results using a nationwide database in Japan	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)	Original Article
96	Tanaka, S.   Kadoya, N.   Sugai, Y. et al.	放射線部	A deep learning-based radiomics approach to predict head and neck tumor regression for adaptive radiotherapy	Scientific Reports	Original Article
97	Terui, H.   Kimura, N.   Segawa, R. et al.	皮膚科	Intradermal vaccination via electroosmotic injection from a porous microneedle patch	Journal of Drug Delivery Science and Technology	Original Article
98	Terui, H.   Yamasaki, K.   Wada-Irimada, M. et al.	皮膚科	Staphylococcus aureus skin colonization promotes SLE-like autoimmune inflammation via neutrophil activation and the IL-23/IL-17 axis	Science Immunology	Original Article
99	Okuyama, J.   Izumi, S.-I.   Funakoshi, S. et al.	リハビリテーション・リハビリテーション科	Supporting adolescents' mental health during COVID-19 by utilising lessons from the aftermath of the Great East Japan Earthquake	Humanities and Social Sciences Communications	Review
100	Hamada, S.   Masson, E.   Chen, J.-M. et al.	消化器内科	Functionally deficient TRPV6 variants contribute to hereditary and familial chronic pancreatitis	Human Mutation	Original Article
101	Sato, T.   Kudo, D.   Kushimoto, S.	高度救命救急センター	Association between Nutrition Protocol with Clostridium butyricum MIYAIRI 588 and Reduced Incidence of Clostridioides difficile Infection in Critically Ill Patients: A Single-Center, Before-And-After Study	Surgical Infections	Original Article
102	Ikedo, R.   Kusano, Y.   Kawamura, Y. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Enlargement of Eustachian Tube Lumen in Patulous Eustachian Tube Patients Compared to that by Aging	Otology and Neurotology	Original Article
103	Ikedo, R.   Hidaka, H.   Ito, M. et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pharmacotherapy focusing on for the management of otitis media with effusion in children: Systematic review and meta-analysis	Auris Nasus Larynx	Review
104	Gohno, T.   Hanamura, T.   Kurosumi, M. et al.	臨床検査部門(輸血)	One DNA Methylation Regulates CHIP Gene Expression of Human Breast Cancer and Predicts Recurrence	Anticancer Research	Original Article
105	Shindo, Y.   Nakamura, H.M.   Nakai, J. et al.	歯科麻酔疼痛管理科	Aparasympathetic neurotransmitter induces myoepithelial cell differentiation during salivary gland development	Experimental Cell Research	Original Article
106	Kochi, R.   Endo, H.   Uchida, H. et al.	脳神経外科	Efficacy of arterial spin labeling for detection of the ruptured micro-arteriovenous malformation: illustrative cases	Journal of Neurosurgery: Case Lessons	Original Article
107	Kikuchi, K.   Yamazaki, N.   Nozawa, K. et al.	皮膚科	Topical corticosteroid therapy for facial acneiform eruption due to EGFR inhibitors in metastatic colorectal cancer patients: a randomized controlled trial comparing starting with a very strong or a weak topical corticosteroid (FAEISS study, NCCH1512,	Supportive Care in Cancer	Original Article
108	Kawakami, J.   Henninger, H.B.   Knighton, T.W. et al.	整形外科	Effect of Anterior Glenoid Chondrolabral Defects on Anterior Glenohumeral Stability: A Biomechanical Study	Orthopaedic Journal of Sports Medicine	Original Article
109	Kawakami, J.   Yamamoto, N.   Itoi, E. et al.	整形外科	Morphology of Glenoid Cartilage Defects in Anterior Inferior Glenohumeral Instability	Orthopaedic Journal of Sports Medicine	Original Article
110	Hamada, S.   Matsumoto, R.   Masamune, A.	消化器内科	Pancreatic Stellate Cells and Metabolic Alteration: Physiology and Pathophysiology	Frontiers in Physiology	Review
111	Hamada, S.   Matsumoto, R.   Masamune, A.	消化器内科	HIF-1 and NRF2: Key Molecules for Malignant Phenotypes of Pancreatic Cancer	Cancers	Original Article

112	Tanaka, H.   Yamada, N.   Kurishima, H. et al.	整形外科	Association between Hip Center Position and Isokinetic Hip Muscle Performance after Anterolateral Muscle-Sparing Total Hip Arthroplasty	Medicina (Lithuania)	Original Article
113	Mori, Y.   Izumiya, T.   Mori, N. et al.	整形外科	Intermittent lung disease in a woman with rheumatoid arthritis treated with denosumab: A case report	Modern Rheumatology Case Reports	Original Article
114	Mori, Y.   Masahashi, N.   Aizawa, T.	整形外科	A Review of Anodized Ti6Sn Alloys for Improvement in Layer Quality and Application to Orthopedic Implants	Materials	Review
115	Kaiho, Y.   Masuda, H.   Takei, M. et al.	外科学分野(泌尿器科)	Outcomes of artificial urinary sphincter implantation in patients with diabetes mellitus: A subgroup analysis	International Journal of Urology	Original Article
116	Asano, N.   Takeuchi, A.   Imatani, A. et al.	内科学分野(消化器病)	Wnt Signaling and Aging of the Gastrointestinal Tract	International Journal of Molecular Sciences	Review
117	Kaushik, N.   Susaki, T.   Kamijo, H. et al.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Infrared slit light-based scanning type portable device for monitoring of cataract	Optical Engineering	Original Article
118	Kiyota, N.   Shiga, Y.   Omodaka, K. et al.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	The relationship between choroidal blood flow and glaucoma progression in a Japanese study population	Japanese Journal of Ophthalmology	Original Article
119	Kunikata, H.   Nishiguchi, K.M.   Watanabe, M. et al.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Surgical outcome and pathological findings in macular epiretinal membrane caused by neurofibromatosis type 2	Digital Journal of Ophthalmology	Original Article
120	Kunikata, H.   Tawarayama, H.   Tsuda, S. et al.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Development of an anti-oxidative intraocular irrigating solution based on reactive persulfides	Scientific Reports	Original Article
121	Nakazawa, T.   Takehashi, K.   Kuwayama, Y. et al.	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	Interim Results of Post-Marketing Observational Study of Omidnessag Isopropyl for Glaucoma and Ocular Hypertension in Japan	Advances in Therapy	Original Article
122	Kooral, A.   Yamada, M.   Ichikawa, T. et al.	内科学分野(呼吸器内科学分野)(臨床)	Triple versus LAMA/LABA combination therapy for Japanese patients with COPD: A systematic review and meta-analysis	Respiratory Investigation	Original Article
123	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Sekiguchi, T. et al.	外科学分野(整形外科)	Sleep disturbance is associated with neck pain: a 3-year longitudinal study after the Great East Japan Earthquake	BMC Musculoskeletal Disorders	Original Article
124	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Sekiguchi, T. et al.	外科学分野(整形外科)	The 5-Year Course of Neck Pain Among Natural Disaster Survivors: The Association of Prior Neck Pain with New Episodes of Neck Pain	Pain Medicine (United States)	Original Article
125	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Sekiguchi, T. et al.	外科学分野(整形外科)	Association Between Sleep Disturbance and Low Back Pain: A 3-Year Longitudinal Study After the Great East Japan Earthquake	Spine	Original Article
126	Endo, H.   Hagiwara, Y.   Kimura, N. et al.	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	Effects of clazosentan on cerebral vasospasm-related morbidity and all-cause mortality after aneurysmal subarachnoid hemorrhage: two randomized phase 3 trials in Japanese patients	Journal of Neurosurgery	Original Article
127	Kambayashi, Y.   Kasahara, Y.   Ohuchi, K. et al.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Successful treatment of metastatic fibrosarcomatous dermatofibrosarcoma protuberans with imatinib mesylate	Dermatologic Therapy	Original Article
128	Kanno, H.   Onoda, Y.   Hashimoto, K. et al.	外科学分野(整形外科)	Reinforcement of Percutaneous Pedicle Screw Fixation with Hydroxyapatite Granules in Patients with Osteoporotic Spine: Biomechanical Performance and Clinical Outcomes	Medicina (Lithuania)	Review
129	Kanno, H.   Onoda, Y.   Hashimoto, K. et al.	外科学分野(整形外科)	Innovation of Surgical Techniques for Screw Fixation in Patients with Osteoporotic Spine	Journal of Clinical Medicine	Review
130	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Tsuchiya, M. et al.	外科学分野(整形外科)	Factors Associated with Thickening of the Ligamentum Flavum on Magnetic Resonance Imaging in Patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis	Spine	Original Article

131	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Tsuchiya, M. et al.	外科病態学講座(整形外科分野)(臨床)	Comparative proteome analysis of the ligamentum flavum of patients with lumbar spinal canal stenosis	JOR Spine	Original Article
132	Jingu, K.   Umezawa, R.   Yamamoto, T. et al.	内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	Patterns of failure after salvage chemoradiotherapy for postoperative loco-regional recurrent esophageal cancer: 20-year experience in a single institution in Japan	Esophagus	Original Article
133	Jingu, K.   Takahashi, N.   Umezawa, R. et al.	内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	The benefit of concurrent chemotherapy with radiotherapy for esophageal cancer is limited in Asian patients aged 80 years or older: a SEER database analysis	Esophagus	Original Article
134	Ishikawa, Y.   Umezawa, R.   Yamamoto, T. et al.	内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	Differential absopal effect in extracranial and intracranial lesions after radiotherapy alone for vertebral bone metastasis of unknown primary: a case report	Journal of Medical Case Reports	Original Article
135	Takeda, K.   Sakayauchi, T.   Kubozono, M. et al.	内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	Palliative radiotherapy for gastric cancer bleeding: a multi-institutional retrospective study	BMC Palliative Care	Original Article
136	Hao, K.   Takahashi, J.   Sato, K. et al.	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	The influence of COVID-19 pandemic on management of acute myocardial infarction in Japan; Insight from the Miyagi AMI Registry Study	IJC Heart and Vasculature	Original Article
137	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Sugawara, Y. et al.	外科病態学講座(整形外科分野)(臨床)	Low back pain is associated with sleep disturbance: a 3-year longitudinal study after the Great East Japan Earthquake	BMC Musculoskeletal Disorders	Original Article
138	Yabe, Y.   Hagiwara, Y.   Sugawara, Y. et al.	外科病態学講座(整形外科分野)(臨床)	Association between low back pain and functional disability in the elderly people: a 4-year longitudinal study after the great East Japan earthquake	BMC Geriatrics	Original Article
139	Endo, H.   Mori, N.   Mugikura, S. et al.	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	Quantitative assessment of microstructural evolution of intracranial aneurysm wall by vessel wall imaging	Neuroradiology	Original Article
140	Hata, T.   Chiba, K.   Mizuma, M. et al.	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Levels of tumor markers CEA/CA 19-9 in serum and peritoneal lavage predict postoperative recurrence in patients with pancreatic cancer	Annals of Gastroenterological Surgery	Original Article
141	Kambayashi, Y.   Ohuchi, K.   Chiba, H. et al.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Tubulointerstitial Nephritis in an Advanced Melanoma Patient Treated with Encorafenib plus Binimetinib Combination Therapy	Case Reports in Oncology	Original Article
142	Fujita, M.   Maeda, T.   Miyata, S. et al.	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	Association of trauma severity with antibody seroconversion in heparin-induced thrombocytopenia: A multicenter, prospective, observational study	Journal of Trauma and Acute Care Surgery	Original Article
143	Honda, K.   Sekiguchi, Y.   Shimazaki, S. et al.	機能医学講座(肢体不自由学分野)(臨床)	Effects of aging on whole-body center of mass movement and lower limb joint kinematics and kinetics during deep-squat movement	Journal of Biomechanics	Original Article
144	Kanamori, H.   Weber, D.J.   Flythe, J.E. et al.	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	Waterborne Outbreaks in Hemodialysis Patients and Infection Prevention	Open Forum Infectious Diseases	Review
145	Kanno, T.   Yuan, Y.   Tse, F. et al.	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	Proton pump inhibitor treatment initiated prior to endoscopic diagnosis in upper gastrointestinal bleeding	Cochrane Database of Systematic Reviews	Original Article
146	Miyagi, S.   Kashiwadate, T.   Nishimaki, H. et al.	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Oxygenated Hypothermic Machine Perfusion of Kidney Transplantation from Donors After Cardiac Death Due to Long-Term Low Blood Pressure and Hypoxia: The First Case Report of a Clinical Trial Using a New Japanese Perfusion System	Transplantation Proceedings	Original Article
147	Miyagi, S.   Fujio, A.   Nakagawa, K. et al.	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	A New Strategy of Liver Transplantation for Locally Advanced Unresectable Perihilar Cholangiocarcinoma Using Living Grafts With Simultaneous Resection of Recipients' Hepatic Artery and Portal Vein Without Neoadjuvant Radiation: A Case Report	Transplantation Proceedings	Original Article
148	Miyagi, S.   Sasaki, K.   Tokodai, K. et al.	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	Adult Living Donor Liver Transplantation for the Carryover Patients After Kasai Operation Who Have a History of Multiple Laparotomies	Transplantation Proceedings	Original Article
149	Nishiyama, S.   Wright, A.E.   Lotan, I. et al.	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Upregulated complement receptors correlate with Fc gamma receptor 3A-positive natural killer and natural killer-T cells in neuromyelitis optica spectrum disorder	Journal of Neuroinflammation	Original Article

150	Yu, Z.   Matsukawa, N.   Saigusa, D. et al.	神經·感覺器病態學講座(精神科分野)(臨床)	Plasma metabolic disturbances during pregnancy and postpartum in women with depression	Science	Original Article
151	Kakuta, Y.   Iwaki, H.   Umeno, J. et al.	内科病態學講座(消化器病態學分野)(臨床)	Crohn's Disease and Early Exposure to Thiopurines are Independent Risk Factors for Mosaic Chromosomal Alterations in Patients with Inflammatory Bowel Diseases	Journal of Crohn's and Colitis	Original Article
152	Tagami, K.   Masukawa, K.   Inoue, A. et al.	外科病態學講座(緩和医療學分野)(臨床)	Appropriate referral timing to specialized palliative care service: survey of bereaved families of cancer patients who died in palliative care units	Supportive Care in Cancer	Original Article
153	Nakajima, Y.   Yamazaki, Y.   Gao, X. et al.	外科病態學講座(小兒外科學分野)(臨床)	Association between mitochondrial and nuclear DNA damages and cellular senescence in the patients with biliary atresia undergoing Kasai portoenterostomy and liver transplantation	Medical Molecular Morphology	Original Article
154	Hata, T.   Mizuma, M.   Motoi, F. et al.	外科病態學講座(消化器外科學分野)(臨床)	Prognostic impact of postoperative circulating tumor DNA as a molecular minimal residual disease marker in patients with pancreatic cancer undergoing surgical resection	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	Original Article
155	Yoshida, S.   Hasegawa, T.	神經·感覺器病態學講座(神經內科學分野)(臨床)	Beware of Misdelivery: Multifaceted Role of Retroviral Transport in Neurodegenerative Diseases	Frontiers in Aging Neuroscience	Review
156	Yoshida, S.   Hasegawa, T.	神經·感覺器病態學講座(神經內科學分野)(臨床)	Deciphering the prion-like behavior of pathogenic protein aggregates in neurodegenerative diseases	Neurochemistry International	Original Article
157	Hasegawa, T.   Kubota, T.   Ikeda, K. et al.	神經·感覺器病態學講座(神經內科學分野)(臨床)	Case Report: Isolated, unilateral oculomotor palsy with anti-GQ1b antibody following COVID-19 vaccination	F1000Research	Original Article
158	Ujiié, N.   Sato, H.   Fujiyoshi, M.R.A. et al.	外科病態學講座(消化器外科學分野)(臨床)	Geriatric patients with esophageal motility disorders benefit more from minimally invasive peroral endoscopic myotomy: A multicenter study in Japan	Diseases of the Esophagus	Original Article
159	Toyama, H.   Takei, Y.   Saito, K. et al.	外科病態學講座(胸科科學·周術期醫學分野)(臨床)	Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation During Bilateral Lung Transplantation for a Patient With Eisenmenger Syndrome Complicated With Giant Pulmonary Artery Aneurysm, Azygos Continuation, and Central Airway Obstruction	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	Original Article
160	Watanabe, K.   Ito, Y.   Fujimaru, T. et al.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	Role of the new bioimpedance monitoring device (Secae®) in assessing dry weight in hemodialysis patients	Clinical and Experimental Nephrology	Original Article
161	Mishima, E.   Conrad, M.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	Nutritional and Metabolic Control of Ferroptosis	Annual Review of Nutrition	Review
162	Mishima, E.   Abe, T.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	Role of the microbiota in hypertension and antihypertensive drug metabolism	Hypertension Research	Review
163	Mishima, E.   Ito, J.   Wu, Z. et al.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	A non-canonical vitamin K cycle is a potent ferroptosis suppressor	Nature	Original Article
164	Hashimoto, J.   Tagawa, K.   Westerhof, B.E. et al.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	Central-to-peripheral stiffness gradients determine diastolic pressure and flow fluctuation waveforms: time domain analysis of femoral artery pulse	Journal of Hypertension	Original Article
165	Ishiyama, K.   Sato, T.	内科病態學講座(腎·膠原病·内分泌內科學分野)(臨床)	Efficacy of LDL apheresis for the treatment of cholesterol crystal embolism: A prospective, controlled study	Therapeutic Apheresis and Dialysis	Original Article
166	Ishikawa, Y.   Suzuki, M.   Yamaguchi, H. et al.	内科病態學講座(放射線腫瘍學分野)(臨床)	Long-term survival after definitive proton beam therapy for oligorecurrent esophageal squamous cell carcinoma: a case report	Journal of Medical Case Reports	Original Article
167	Ishikawa, Y.   Suzuki, M.   Yamaguchi, H. et al.	内科病態學講座(放射線腫瘍學分野)(臨床)	Successful treatment with proton beam therapy for a solitary sternal metastasis of breast cancer: a case report	Journal of Medical Case Reports	Original Article
168	Baba, T.   Takeda, A.   Murakami, A. et al.	機能医科學講座(高次機能障害學分野)(臨床)	Effect of donepezil for dementia prevention in Parkinson's disease with severe hyposmia (The DASH-PD study): A randomized long-term placebo-controlled trial	eClinicalMedicine	Original Article

169	Aizu, N.   Oouchida, Y.   Yamada, K. et al.	機能医学講座(肢体不自由学分野)(臨床)	Use-dependent increase in attention to the prosthetic foot in patients with lower limb amputation	Scientific Reports	Original Article
170	Aizu, N.   Otaki, R.   Nishii, K. et al.	機能医学講座(肢体不自由学分野)(臨床)	Body-Specific Attention to the Hands and Feet in Healthy Adults	Frontiers in Systems Neuroscience	Original Article
171	Hashimoto, K.   Takahashi, K.   Onoki, T. et al.	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	Destructive Spondyloarthropathy due to Congenital Insensitivity to Pain with Anhidrosis: A Case Report of Long-Term Follow-Up	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
172	Aizawa, T.   Hashimoto, K.   Kanno, H. et al.	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	Retrospective comparison of the surgical results for patients with thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament: Posterior decompression with instrumented spinal fusion versus modified anterior decompression through a	Journal of Orthopaedic Science	Original Article
173	Kanno, H.   Aizawa, T.   Hashimoto, K. et al.	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	Anterior decompression through a posterior approach for thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament: a novel concept in anterior decompression and technical notes with the preliminary outcomes	Journal of Neurosurgery: Spine	Original Article
174	Kanno, H.   Handa, K.   Murakami, T. et al.	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	Chaperone-Mediated Autophagy in Neurodegenerative Diseases and Acute Neurological Insults in the Central Nervous System	Cells	Review
175	Kawaguchi, T.   Ogawa, Y.   Watanabe, M. et al.	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	Aggressive Pituitary Adenoma Not Fulfilling the New High-Risk Criteria with Progression after 18-Year Stable Clinical Course: Case Report	Journal of Neurological Surgery, Part A: Central European Neurosurgery	Original Article
176	Yamasaki, K.   Miyachi, Y.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Perspectives on rosacea patient characteristics and quality of life using baseline data from a phase 3 clinical study conducted in Japan	Journal of Dermatology	Original Article
177	Yamasaki, K.   Yamanaka, K.   Zhao, Y. et al.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Adalimumab in Japanese patients with active ulcers of pyoderma gangrenosum: Final analysis of a 52-week phase 3 open-label study	Journal of Dermatology	Original Article
178	Fujimura, T.   Muto, Y.   Asano, Y.	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	Immunotherapy for Melanoma: The Significance of Immune Checkpoint Inhibitors for the Treatment of Advanced Melanoma	International Journal of Molecular Sciences	Review
179	Okazaki, T.   Matashiro, M.   Kodama, G. et al.	機能医学講座(内部障害学分野)(臨床)	Frequent Onsets of Cellulitis in Lower Limbs with Lymphedema following COVID-19 mRNA Vaccination	Vaccines	Original Article
180	Imai, J.   Katagiri, H.	内科病態学講座(糖尿病代謝内科学分野)(臨床)	Regulation of systemic metabolism by the autonomic nervous system consisting of afferent and efferent innervation	International Immunology	Review
181	Yu, Z.   Sakai, M.   Fukushima, H. et al.	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	Contextual fear conditioning regulates synapse-related gene transcription in mouse microglia	Brain Research Bulletin	Original Article
182	Akaishi, T.   Himori, N.   Takeshita, T. et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	Follow-up of retinal thickness and optic MRI after optic neuritis in anti-MOG antibody-associated disease and anti-AQP4 antibody-positive NMOSD	Journal of the Neurological Sciences	Original Article
183	Akaishi, T.   Suzuki, T.   Nemoto, H. et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	Five-Year Psychosocial Impact of Living in Postdisaster Prefabricated Temporary Housing	Disaster medicine and public health preparedness	Original Article
184	Akaishi, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	COVID-19-Related Symptoms during the SARS-CoV-2 Omicron (B.1.1.529) Variant Surge in Japan	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
185	Akaishi, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	Effectiveness of third vaccine dose for coronavirus disease 2019 during the Omicron variant pandemic: a prospective observational study in Japan	Scientific Reports	Original Article
186	Akaishi, T.   Kushimoto, S.   Katori, Y. et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	Effectiveness of mRNA COVID-19 Vaccines in Japan during the Nationwide Pandemic of the Delta Variant	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
187	Nogami, S.   Kataoka, Y.   Yamauchi, K. et al.	病態マネジメント(歯学講座(顎顔面口腔再建外科学分野))	Condylar Resorption Following Compressive Mechanical Stress in Rabbit Model - Association of Matrix Metalloproteinases	In Vivo	Original Article

188	Kouketsu, A.   Matsui, K.   Kawai, T. et al.	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔再建外科学分 野)	Teriparatide with Octacalcium Phosphate Collagen Composite Stimulates Osteogenic Factors	Tissue Engineering - Part A	Original Article
189	Komiyama, T.   Ohi, T.   Ito, W. et al.	リハビリテーション歯学講座 (加齢歯科学分野)	Relationship between maximum occlusal force and gastrointestinal cancer in community-dwelling older Japanese adults	Scientific Reports	Original Article
190	Nakase, T.   Tatewaki, Y.   Thyreau, B. et al.	臨床加齢医学研究分野	Impact of constipation on progression of Alzheimer's disease: A retrospective study	CNS Neuroscience and Therapeutics	Original Article
191	Iwama, R.   Nagai, H.   Suzuki, N. et al.	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔再建外科学分 野)	A case of giant dental calculus in a patient with centronuclear myopathy	Special Care in Dentistry	Original Article
192	Akaishi, T.   Ishii, T.   Nakaya, N. et al.	漢方・統合医療学共同研究 講座	White blood cell count profile in patients with physical complaints without known causes	SAGE Open Medicine	Original Article
193	Akaishi, T.   Ishii, T.	漢方・統合医療学共同研究 講座	A simulation of geographic distribution for the emergence of consequential SARS-CoV-2 variant lineages	Scientific Reports	Original Article
194	Akaishi, T.   Ishii, T.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Variation in the prevalence of cough symptoms 4-5 days after infection with SARS-CoV-2 between seasons with different prevalent strains	Journal of General and Family Medicine	Original Article
195	Akaishi, T.   Takahashi, T.   Sato, S. et al.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Prolonged Diarrhea Following COVID-19 Vaccination: A Case Report and Literature Review	Tohoku Journal of Experimental Medicine	Original Article
196	Akaishi, T.   Ishii, T.   Aoki, M. et al.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Calculating and Comparing the Annualized Release Rate and Estimating the Confidence Interval in Relapsing Neurological Diseases	Frontiers in Neurology	Original Article
197	Akaishi, T.   Fujiwara, K.   Ishii, T.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Insertion/deletion hotspots in the Nsp2, Nsp3, S1, and ORF8 genes of SARS-related coronaviruses	BMC Ecology and Evolution	Original Article
198	Akaishi, T.   Ishii, T.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Coronavirus disease 2019 transmission and symptoms in young children during the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 Delta variant and Omicron variant outbreaks	Journal of International Medical Research	Original Article
199	Akaishi, T.   Misu, T.   Fujihara, K. et al.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Relapse activity in the chronic phase of anti-myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease	Journal of Neurology	Original Article
200	Akaishi, T.   Onodera, T.   Takahashi, T. et al.	漢方・統合医療学共同研究 講座	Reports of acute adverse events in mRNA COVID-19 vaccine recipients after the first and second doses in Japan	Scientific Reports	Original Article
201	Nogami, S.   Yamauchi, K.   Izumita, K. et al.	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔再建外科学分 野)	Clinical course of masticatory function recovery following arthrocentesis in patients with unilateral mandibular condyle head fracture	Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery	Original Article
202	Nogami, S.   Yamauchi, K.   Kitamura, J. et al.	病態マネジメント歯学講座 (顎顔面口腔再建外科学分 野)	The accuracy of ultrasound and magnetic resonance imaging for estimating thickness of oral tongue squamous cell carcinoma and influence of biopsy on those findings	Oral Science International	Original Article
203	Ogawa, T.   Sitaksmi, R.M.   Miyashita, M. et al.	リハビリテーション歯学講座 (口腔システム補綴学分野)	Effectiveness of the socket shield technique in dental implant: A systematic review	Journal of Prosthodontic Research	Review
204	Yanada, A.   Yoshizaki, K.   Saito, K. et al.	地域共生社会歯学講座(小 児発達歯科学分野)	GSK3beta inhibitor-induced dental mesenchymal stem cells regulate ameloblast differentiation	Journal of Oral Biosciences	Original Article
205	Okawa, H.   Kondo, T.   Hokugo, A. et al.	リハビリテーション歯学講座 (分子・再生歯科補綴学分 野)	Mechanism of bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw (BRONJ) revealed by targeted removal of legacy bisphosphonate from jawbone using competing inorganic diphosphonate	eLife	Original Article
206	Kitaura, H.   Marahleh, A.   Otori, F. et al.	地域共生社会歯学講座(顎 口腔矯正学分野)	Role of the Interaction of Tumor Necrosis Factor- $\alpha$ and Tumor Necrosis Factor Receptors 1 and 2 in Bone-Related Cells	International Journal of Molecular Sciences	Review



207	Noda, M.   Shibasaki, I.   Okada, Y.	呼吸器外科学分野	Acquisition of surgical technique by surgical training using a Swine model—evaluation of the suture technique using a WKS-2 simulator	AME Medical Journal	Original Article
208	Tanda, N.   Tada, H.   Washio, J. et al.	地域共生社会歯学講座(予防歯科学分野)	Influence of alcohol sensitivity on bone metastases and skeletal-related events in primary operable breast cancer: A retrospective cohort study	PLoS ONE	Original Article
209	Hoshijima, H.   Mihara, T.   Kokubū, S. et al.	病態マネジメント歯学講座(歯科口腔麻酔学分野)	Effectiveness of Indirect and Direct Laryngoscopes in Pediatric Patients: A Systematic Review and Network Meta-Analysis	Children	Original Article
210	Hoshijima, H.   Mihara, T.   Denawa, Y. et al.	病態マネジメント歯学講座(歯科口腔麻酔学分野)	Altrag® versus GlideScope® for tracheal intubation in adults: a systematic review and meta-analysis with trial sequential analysis	Canadian Journal of Anesthesia	Original Article
211	Hoshijima, H.   Mihara, T.   Nagumo, T. et al.	病態マネジメント歯学講座(歯科口腔麻酔学分野)	Nasal protection strategy reduces the incidence of nasal pressure injuries during nasotracheal intubation: Meta-analysis with trial sequential analysis	Medicine (United States)	Review
212	Mayama, A.   Seiryu, M.   Takano-Yamamoto, T.	地域共生社会歯学講座(顎口腔矯正学分野)	Effect of vibration on orthodontic tooth movement in a double blind prospective randomized controlled trial	Scientific Reports	Original Article
213	Takeda, A.   Tsuboi, Y.   Nomoto, M. et al.	係・講座に所属しない職員	Collective Expert Perspectives on the Use of Safinamide as Adjunctive Therapy for Parkinson's Disease: Online-Based Delphi Survey	Parkinson's Disease	Original Article
214	Nakayama, M.   Hui, F.   Inoue, R.	情報健康医学講座(医学情報学分野)(臨床・医学部)	Coverage of Clinical Research Data Retrieved from Standardized Structured Medical Information eXchange Storage	Studies in Health Technology and Informatics	Others
215	Nakayama, M.   Inoue, R.	情報健康医学講座(医学情報学分野)(臨床・医学部)	Electronic Phenotyping to Identify Patients with Arrhythmia Disease from a Hospital Information System	Studies in Health Technology and Informatics	Others
216	Sakamoto, M.   Kojima, I.   Iikubo, M. et al.	病態マネジメント歯学講座(歯科医用情報学分野)	Perfusion defects in non-enlarged metastatic lymph nodes using vessel wall magnetic resonance imaging: Detection performance and diagnostic value	Clinical and Experimental Metastasis	Original Article
217	Yukihiko Sakisaka, Hiroshi Ishihata, Kentaro Maruyama et al.	歯内歯周治療学分野	Serial Cultivation of an MSC-Like Cell Line with Enzyme-Free Passaging Using a Microporous Titanium Scaffold.	Materials, 16(3), 1165. 2023	Original Article
218	Yusuke Shibuya, Kei Kudo, Kristen P Zeiligs et al.	産婦人科学分野	SMAc Mimetics Synergistically Cooperate with HDAC Inhibitors Enhancing TNF- $\alpha$ Autocrine Signaling.	Cancers 15(4)	Original Article
219	Naoya Kobayashi, Hiroaki Toyama, Ryoosuke Kudo et al.	集中治療部	The Predictor for Induction of Extra-Corporeal Membrane Oxygenation (ECMO) in Cadaveric Single-Lung Transplantation: A Retrospective Preliminary Study	International Journal of Organ Transplantation Medicine. 2022;12:36-42.	Original Article
220	Tatsuaki Watanabe, Mitsuaki Kawashima, Mikihiro Kohno et al.	呼吸器外科学分野	Outcomes of lung transplantation from organ donation after medical assistance in dying: First North American experience	Am J Transplant . 2022 Jun;22(6)	Original Article
221	Yamada A, Yoshizaki K, Saito K et al.	小児発達歯科学分野	GSK3beta inhibitor-induced dental mesenchymal stem cells regulate ameloblast differentiation	J Oral Biosci . 2022 Dec;64(4):400-409	Original Article
222	Kanno, T, Arata, Y, Hatayama, Y. et al.	消化器病態学分野	Novel simulator of endoscopic hemostasis with actual endoscope and devices	VideoGIE. 8(2): 56-59	Original Article
223	Akiyama S, Madan N, Graham G et al.	周産母子センター	Regional brain development in fetuses with Dandy-Walker malformation: A volumetric fetal brain magnetic resonance imaging study	PLoS ONE 17(2): e0263535	Original Article
224	Sato T, Kudo D, and Kushimoto S	救急医学分野	Association between Nutrition Protocol with Clostridium butyricum MIYAIRI 588 and Reduced Incidence of Clostridioides difficile Infection in Critically Ill Patients: A Single-Center, Before-and-After Study	Surgical Infections 23 (5): 2022: 483-488.	Original Article
225	Yoshie Sakurai, Tatsuya Watanabe, Yuichiro Miura et al.	周産母子センター	Clinical and Bacteriologic Characteristics of Six Cases of Bifidobacterium breve Bacteremia Due to Probiotic Administration in the Neonatal Intensive Care Unit	The Pediatric Infectious Disease Journal · Volume 41, Number 1, January 2022	Original Article

226	Murakami K, Kikuchi S, Kobayashi N et al.	予防医学・疫学部門	Social isolation and postnatal bonding disorder in Japan: the Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study.	Arch Womens Ment Health. 25(6):1079-1086	Original Article
227	Murakami K, Kikuchi S, Kobayashi N et al.	予防医学・疫学部門	Traumatic experiences of the Great East Japan Earthquake and postpartum depressive symptoms: The Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study.	J Affect Disord. 30:320-461-467.	Original Article
228	Murakami K, Kikuchi S, Kobayashi N et al.	予防医学・疫学部門	Social isolation and insomnia among pregnant women in Japan: The Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study.	Sleep Health. 10:S2352-7218(22)00147-4.	Original Article
229	Akaishi T, Kobayashi N, Kikuchi S et al.	漢方・統合医療学共同研究講座	Risk Factors Associated With Peripartum Suicide Attempts in Japan.	JAMA Netw Open. 3:6(1):e2250661.	Original Article
230	Yu Z, Ono C, Kikuchi S, Kobayashi et al.	精神神経学分野	Plasma metabolic disturbances during pregnancy and postpartum in women with depression	iScience. 25(12):105866.	Original Article
231	Yukihiko Naganuma, Masatoshi Takahashi, Yukyo Takada et al.	障がい・若歯科治療部	Usefulness of conventional glass ionomer cements in an environment of insufficient moisture exclusion	Journal of Oral Science, 64, 242-246	Original Article
232	Yuka Yokoyama-Sato, Takashi Nishioka, Yukihiko Naganuma et al.	歯科医情報学分野	Effectiveness of an actuator-driven pulsed water jet for removal of softened carious dentin.	Dental materials journal. 41, 527-533	Original Article
233	Atsushi Fujio, Masahiro Usuda, Yasuyuki Hara et al.	移植・再建・内視鏡外科	Usefulness of Preoperative Controlling Nutritional Status in Predicting Prolonged Hospitalization and Incidence of Postoperative Delirium for Elderly Hepatectomy with Hepatocellular Carcinoma	Tohoku J Exp Med. 2022 Jan;256(1):43-52.	Original Article
234	Kiyoshi Takagi, Mio Yamaguchi, Minoru Miyashita et al.	臨床検査医学科学講座	Diverse role of androgen action in human breast cancer	Endocr Oncol. 2022 Aug 22;2(1):R102-R111.	Review
235	Mio Yamaguchi, Tomoaki Sasaki, Kodai Uemura et al.	病理検査学分野	Automatic breast carcinoma detection in histopathological micrographs based on Single Shot Multibox Detector. J Pathol Inform.	J Pathol Inform. 2022 Sep 26;13:100147	Original Article
236	Hiroaki Mitsugashira, Kazuaki Tokodai, Wataru Nakanishi et al.	移植・再建・内視鏡外科	Usefulness of Thiel-Embalmed Cadavers for Training in Organ Procurement	Transplantation Proceedings, Volume 54, Issue 2, March 2022, Pages 230-232	Original Article
237	Hiroaki Mitsugashira, Takehiro Imura, Akiko Inagaki, Yukiko Endo et al.	移植・再建・内視鏡外科	Development of a novel method for measuring tissue oxygen pressure to improve the hypoxic condition in subcutaneous islet transplantation	Scientific Reports. 2022 Aug 30;12(1):14731.	Original Article
238	Keisuke Ido, MPH; Mariko Miyazaki, MD, PhD; Masaharu Nakayama, MD, PhD et al.	メディカルITセンター	Hemodialysis Record Sharing: Solution for Work Burden Reduction and Disaster Preparedness	JMIR Form Res 2022   vol. 6   iss. 7   e32925   p. 9	Original Article
239	Chong Song, Yoichi Kakuta, Kenichi Negoro et al.	メディカルITセンター	Collection of patient-generated health data with a mobile application and transfer to hospital information system via QR codes	Computer, Methods and Programs in Biomedicine Update, vol 3, 2023	Original Article
240	Kinuko Ohneda, Masahiro Hiratsuka, Hiroshi Kawame et al.	バイオバンク部門	A pilot study for return of individual pharmacogenomic results to population-based cohort study participants	JMA Journal, 5, 177-189 (2022)	Original Article
241	Shin Takayama, Tadasahi Ishii	総合地域医療教育支援部	Kampo medicine bukuryoingohangekobokuto and ninjin yoeitoyoeto as supportive care for management of anorexia and tightness of the esophagus in advanced esophageal cancer: A case report	Explore (New York, N.Y.)	Original Article
242	Tetsuya Akaishi, Kei Fujiwara, Tadasahi Ishii	漢方・統合医療学共同研究講座	Genetic Recombination Sites Away from the Insertion/Deletion Hotspots in SARS-Related Coronaviruses	The Tohoku Journal of Experimental Medicine, 259(1):17-26	Original Article
243	Kanaya A, Yang M, Emala C et al.	麻酔科	Chronic allergic lung inflammation negatively influences neurobehavioral outcomes in mice	J Neuroinflammation. 2022 Aug 31;19(1):210.	Original Article
244	Kimio Watanabe, Emiko Sato, Eikan Mishima et al.	腎・膠原病・内分泌内科学分野	What's New in the Molecular Mechanisms of Diabetic Kidney Disease: Recent Advances	Int J Mol Sci. Dec 29;24(1):570	Original Article

245	Nogami S, Yamauchi K, Izumita K et al.	歯科顎口腔外科(形態機能学)	Clinical course of masticatory function recovery following arthrocentesis in patients with unilateral mandibular condyle head fracture	J Craniofac Surg 2022 Mar;50(3):225-229.	Original Article
246	Hiroko Okawa, Takeru Kondo, Akishige Hokugo, Philip Chertian, Oskar Sundberg et al.	咬合修復科	Fluorescent risedronate analogue 800CW-pRS improves tooth extraction-associated abnormal wound healing in zoledronate-treated mice.	Communications Medicine. 2022 Sep 5;2:112.	Original Article

計246件

(注) 1 当該特定機能病院内に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限ること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月)とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない」、巻数、該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインの場合には雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec. 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ouchi, K.   Ishioka, C.	がんセンター	Biomarkers of Anti-EGFR Antibodies in the Treatment of Metastatic Colorectal Cancer	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
2	Onodera, K.   Fukuhara, N.	血液内科	The Evolution of the Treatment of Chronic Myelogenous Leukemia	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
3	Inoue, J.   Kakizaki, S.   Tojima, H.   Todokoro, D.   Ogawa, K.   Ikegami, T.   Nishimura, T.   Kumikata, H.   Korenaga, M.	消化器内科	Questionnaire survey on hepatitis virus tests among ophthalmologists in Japan	Kanzo/Acta Hepatologica Japonica	Original Article
4	Kashiwada, T.   Hara, Y.   Hashizume, E.   Nishida, A.   Umno, M.   Kamei, T.	移植・再建・内視鏡外科	A case of spontaneously ruptured hepatic angiosarcoma resected after transcatheter arterial embolization	Journal of Surgical Case Reports	Original Article
5	Omodaka, S.   Endo, H.   Fujimura, M.   Tomimaga, T.	脳神経外科	Role of Vessel Wall Imaging in the Diagnosis of Intracranial Aneurysms	Japanese Journal of Neurosurgery	Original Article
6	Shijo, T.   Suzuki, N.   Warita, H.   Kawauchi, Y.   Mitsuzawa, S.   Ikeda, K.   Izumi, R.   Ono, R.   Ohno, A.   Toyoshima, M.   Harada, R.   Kuroda, H.   Kato, M.   Aoki, M.	神経・感覚器病態学講座(神経内科学分野)(臨床)	Patients with lower limb-onset ALS who have a longer duration from onset to diagnosis have a better prognosis	Neurology and Clinical Neuroscience	Original Article
7	Ishioka, C.   Muto, M.   Yachida, S.   Hirota, H.   Hirasawa, A.   Miyagawa, K.   Ashizawa, K.   Kinoshita, I.   Nishihara, H.   Matsuura, N.   Sakurai, A.	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	Panel Discussion - Problems in the Cancer Genomic Medicine	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy	Original Article
8	Kanamori, M.   Tomimaga, T.	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	Current Diagnosis and Treatment of Intracranial Germ Cell Tumors	Japanese Journal of Neurosurgery	Original Article
9	安藤 亮, 工藤博典, 和田 基	小児外科	【短腸症候群の診療における問題点】短腸症候群と腸管リハビリテーション	小児外科 No.54 Vol.3 p.322-5	Original Article

10	大久保龍二、佐々木英之、橋本昌俊、中島雄大、仁尾正記、和田基	小児外科	特集:先天性胆道拡張症 up-to-date 7. 胆道閉鎖症との鑑別困難例	小児外科(0385-6313)54巻9号 Page868-871(2022.09)	Others
11	大久保龍二、佐々木英之、橋本昌俊、中島雄大、仁尾正記、和田基	小児外科	特集:肝内結石症はこう診てこう治す 12. 胆道閉鎖症術後の肝内結石の治療	胆と胰(0388-9408)43巻7号 Page691-695(2022.07)	Others
12	高橋幸也	皮膚科	壊疽性膿皮症の診断基準・ 重症度分類*	皮膚科, 2(5):1-6, 2022	Review
13	菊地紗耶、小林奈津子、富田博秋	精神科	妊娠中・産後の精神状態を紐解く	保健の科学64(4)242-246	Original Article
14	石田 晶玄、海野 倫明	肝・胆・膵外科	膵頭十二指腸切除後脂肪肝の発症に関する臨床的検討	胆膵の病態生理38巻1号 Page21- 26(2022.06)	Original Article
15	石田 晶玄、海野 倫明	肝・胆・膵外科	【胆膵領域における術後回復促進プログラム(ERAS)と栄養サポート】慢性膵炎手術の栄養サポート	胆と胰43巻3号 Page255- 258(2022.03)	Others
16	高山 真、有田 龍太郎、小野 理恵、只野 恭教、菊地 章子、稲葉 洋平、中村直毅、阿部 倫明、石井 正	総合地域医療教育支援部	新型コロナウイルス感染症患者等宿泊療養施設における管理課題解決のための情報共有・往診システムの構築	日本医療・病院管理学会誌、59 巻4号、157-167	Others
17	中村直毅、高山 真、井戸 敬介、井上 隆輔、藤井 進、大田 英揮、石井 正、張替 秀郎	メディカルITセンター	コロナ軽症者宿泊療養施設における入所者の健康管理強化の取り組み	医療情報学 42(Suppl.), 535-538	Others
18	菊地 徹夫、中村直毅、田山 智幸、加藤 文樹、寺澤 篤史、井上 隆輔、藤井 進、大田 英揮、張替 秀郎	メディカルITセンター	入院患者向け無料Wi-Fi サービスの展開における取り組み	医療情報学 42(Suppl.), 1294- 1295	Others
19	中村直毅、藤井 進、大田 英揮、張替 秀郎	メディカルITセンター	病院ネットワークにおけるアクセス回線の冗長化の試み	医療情報学 42(Suppl.), 1296- 1297	Others
20	佐々木 恵利奈、中村直毅、角田 洋	メディカルITセンター	電子カルデシステムとスマートフォンの間診アプリケーション間の双方向連携によるデータ入力の効率化	月刊新医療 49(5) 20-23	Others
21	葛田 雄京、高橋 正敏、山口 洋史、長沼 由泰、坂詰 花子、菊地 亮	歯科生体材料学分野	磁気遮蔽材料を目的とした窒素を固溶した非磁性ステンレス鋼の機械的性質と耐食性	日本磁気歯科学会雑誌,31, 13-19	Original Article
22	小澤洋平、谷山裕亮、佐藤千晃、岡本宏史、福富俊明、小関 健、堀江悠太、赤石隆二郎、海野倫明、亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	食道癌の集学的治療における外科治療の役割	外科(0016-593X)84巻1号 Page50- 54(2022.01)	Others
23	小澤洋平、谷山裕亮、佐藤千晃、岡本宏史、福富俊明、小関 健、安藤涼平、高橋 梢、海野倫明、亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	ERASプロトコルに基づいた栄養管理	臨床外科(0386-9857)77巻1号 Page12-16(2022.01)	Others
24	平間 崇	呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第1回 日本の肺移植の現状	呼吸臨床 6(7) e00152	Others

25	平間崇		呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第2回 肺移植施設への紹介と移植登録	呼吸臨床 6(8) e00155	Others
26	平間崇		呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第3回 肺移植の周術期管理	呼吸臨床 6(9) e00156	Others
27	平間崇		呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第4回 肺移植後の免疫抑制療法	呼吸臨床 6(10) e00159	Others
28	平間崇		呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第5回 肺移植後の抗微生物療法	呼吸臨床 6(11) e00160	Others
29	平間崇		呼吸器外科	呼吸器内科医のための肺移植の診かた 第6回 肺移植後の基本的管理(グラフト機能と合併症, 呼吸理学療法, 栄養食事療法)	呼吸臨床 6(12) e00161	Others
30	金子 仁彦, 浪岡 靖弘, 大山 綾音, 高井 良樹, 梅森 紀子, 中澤 徹, 三須 建郎, 青木 正志	脳神経内科		再発後早期にeculizumabを導入した抗アブリン4抗体陽性視神経脊髄炎の2例	神経治療学(0916-8443)39巻4号 Page731-735(2022.07)	Original Article
31	山口 万里奈, 高宮 美智子, 國方 彦志, 中澤 徹	眼科		白内障手術中に角膜断裂が生じ創口拡大のため手術に難渋した脆弱角膜症候群の2症例	床眼科(0370-5579)76巻10号 Page1459-1464(2022.10)	Original Article
32	新田 文彦, 國方 彦志, 古田 実, 阿部 俊明, 中澤 徹	眼科		硝子体手術により腫瘍摘出を行った網膜血管増殖性腫瘍の1例	臨床眼科(0370-5579)76巻5号 Page677-683(2022.05)	Original Article
33	中澤 徹	神経・感覚器病態学講座(眼科学分册)(臨床)		緑内障早期治療の知と実践(解説)	日本の眼科(0285-1326)93巻5号 Page1282-1283(2022.09)	Review
34	佐藤 大夢, 中澤 徹	眼科		【眼疾患と慢性炎症】緑内障と神経炎症(解説)	別冊Jpn Clinica: 慢性炎症と疾患 11巻1号 Page56-61(2022.06)	Review
35	橋本 和軌, 中澤 徹	眼科		【ここまで変わった緑内障診療の新常識】原発開放隅角緑内障の全身的な危険因子(解説)	あたらしい眼科(0910-1810)39巻4号 Page395-401(2022.04)	Review
36	津田 聡, 中澤 徹	眼科		【網膜循環疾患アップデート】網膜動脈閉塞症(解説)	あたらしい眼科(0910-1810)39巻1号 Page31-37(2022.01)	Review
37	高田 菜生子, 中澤 徹	眼科		【眼科医のための薬理学のイロハ】バイオマーカー探索と眼科への応用(解説)	OCULISTA(2187-5855)107号 Page66-72(2022.02)	Review
38	井上 淳, 柿崎 暁, 戸島 洋貴, 戸所 大輔, 小川 浩司, 池上 正, 西村 知久, 國方 彦志, 是永 匡紹	消化器内科		眼科医に対する肝炎ウイルス検査に関するアンケート調査(原著論文)	肝臓(0451-4203)63巻2号 Page87-89(2022.02)	Others
39	横山 悠	眼科		【最新臨床研究から探る眼科臨床のギモンQ&A】緑内障 交感神経α2受容体刺激薬には神経保護効果があると考えてよいですか?(Q&A)	臨床眼科(0370-5579)76巻11号 Page39-43(2022.10)	Others

40	面高 宗子	眼科	Glaucoma Q&A 緑内障と眼循環障害は関連があるのですか? 緑内障診療のOCTAではどこをみればよいか教えてください。(Q&A)	Frontiers in Glaucoma(1345-894X)64号 Page126-132(2022.09)	Others
41	矢花 武史	眼科	手術手技のコツ トラベキュロミミー後前房出血への対処法(解説)	眼科手術(0914-6806)35巻4号 Page638-641(2022.10)	Review
42	中澤 徹	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	2 治療総論 2 薬物治療 交感神経α2作動薬	「今日の眼疾患治療指針 第4版」p255-256 医学書院 2022年9月15日発行	Others
43	中澤 徹	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	眼科疾患 緑内障(手術療法)	「今日の眼疾患治療指針 第4版」p1559-1560 医学書院 2022年1月1日発行	Others
44	中澤 徹	神経・感覚器病態学講座(眼科学分野)(臨床)	第2章 疫学と基礎 I 開放隅角緑内障の分類と考え方 B 原発開放隅角緑内障 C 正覚眼圧緑内障	All About 開放隅角緑内障 第2版 P42-P73	Others
45	面高 宗子	眼科	第2章 疫学と基礎 II 開放隅角緑内障のリスクファクター C 近視	All About 開放隅角緑内障 第2版 P119-P130	Others
46	宋 萌, 中山 雅晴	メディカルITセンター	International Patient Summaryと退院時サマリーHL7 FHIR記述仕様を参考にしたEHR画面の開発	医療情報学 26(Suppl.) 82-83 2022年7月	Original Article
47	小原拓, 土屋 雅美, 眞野成康	予防医学・疫学部門	特集:「早期に見極めずばやく対応! 重篤副作用の予防と治療, 副作用報告を実践しよう, 「副作用報告の質向上を目指して」	月刊薬事, 64(8), 1609-1613 (2022).	Review
48	鈴木博也, 眞野成康	薬剤部	49. 髄膜炎 薬理と薬学管理のポイント	薬局(南山堂), pp. 778-780 (2022).	Review
49	小原拓, 眞野成康	予防医学・疫学部門	【薬にまつわる疑問】妊婦, 授乳婦への処方: 耳鼻咽喉科頭頸部外科医が処方することの多い薬剤の妊娠中の使用について教えてください	Journal of Otolaryngology, Head and Neck Surgery(東京医学社), pp. 1121-1123 (2022).	Review
50	亀井 尚, 小瀬洋平, 谷山祐亮, 岡本宏史, 佐藤千晃,	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	サルコペニア併存食道癌患者に対する術前・術後栄養管理とリハビリテーション	外科と代謝・栄養; 56(6): 209-213	Review
51	中川 圭, 水間正道, 青木修一, 海野倫明	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	腹腔洗浄細胞診陽性膀胱がんの手術適応「手術を行わない」という立場から	胆膵 Oncology Forum. ; 2(2): 12-20	Others
52	富田博秋, 國井泰人, 白倉 隆, 佐藤博俊, 角藤芳久	神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	緊急時に備えた精神科医療における地域連携体制のあり方 ~ 東日本大震災からCOVID-19パンデミックまでの緊急時対応を振り返って ~	精神科救急 25巻: p.85-89	Original Article
53	久志本 成樹, 川副 友, 谷河 篤	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	【DIC・関連疾患・COVID-19と臨床検査】DICを理解するためのLecture (Part 2) DICの治療戦略 外傷性凝固障害	Land-Mark in Thrombosis & Haemostasis(2436-0635)2号 Page75-78(2022.06)	Review
54	久志本 成樹, 勝田 賢, 角田 拓也	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	【抗血栓薬の使用の留意点】多発外傷・重症外傷・重症外傷と抗血栓薬	日本医師会雑誌(0021-4493)150巻 11号 Page1985-1989(2022.02)	Review

55	久志本成樹,宮川乃理子	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	穿孔性腹部外傷患者への予防的抗菌薬投与の指針	救急・集中治療最新ガイドライン, 2022-23. 岡元和文編. 総合医学社, 東京, 2022年(3月), pp163-164.	Review
56	金森政之,富永梯二	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	頭蓋内胚細胞腫の診断・治療のupdate	脳神経外科ジャーナル Vol.31 p.31-8	Review
57	工藤 大介, 後藤 匡啓,久志本成樹	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	【これが本当の救急医療”ネクストステージ”】敗血症のpersonalized medicine 機械学習によるサブクラス分類	救急医学(0385-8162)46巻3号 Page362-369(2022.03)	Review
58	工藤大介,久志本成樹	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	肺血管外水分量による肺水腫の鑑別と人工呼吸器離脱プロセスによる肺水腫の診断	人工呼吸管理に強くなる改訂版・講義將滿,大庭祐二編,羊土社,東京,2022, pp199-200.	Review
59	高橋雅信	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	【がん看護に活かす腫瘍循環器学】(Part 1)がん治療における心血管合併症	看護技術 vol.68 p.880-883	Review
60	佐々木英之,大久保龍二,橋本昌俊,中島雄大,仁尾正記	外科病態学講座(小児外科学分野)(臨床)	外科病態学講座(小児外科学分野)(臨床)	【withコロナの小児医療の変化】ハイブリッドでの研究会開催 withコロナ時代を見据えた学術集会	小児外科 No.54 Vol.6 p.631-3	Original Article
61	杉浦久敏,松田 聡,仁科直也	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	看過できない生命予後にかかわる「息切れ」に対するアプローチ	Therapeutic Research, vol.43, pp965-971	Review
62	石岡千加史,武藤学,谷内田真一,城田英和,平沢晃,宮川清,芦澤和人,木下 一郎,西原広史,松浦成昭,櫻井晃洋	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	総合討論ーがんゲノム医療の課題ー 全国がんプロ協議会・ゲノム医療部会報告	痛と化学療法 vol.49 p.1014-1017	Others
63	宮崎真理子,渡邊崇,山本多恵,山口裕二,杉浦章	内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	【コロナ禍における腎不全診療の現状と展望】新型コロナウイルスと血液透析 透析患者の受け入れとネットワーク 各地域での取り組み	日本透析医学会雑誌55巻2号 Page93-97	Original Article
64	金森 馨, 岡本 耕	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	感染対策における医療現場の役割とは? 汚染された医療現場が微生物伝播や医療関連感染に重要な役割を担っている	週刊日本医事新報 vol.5141 p.48-49	Others
65	工藤博典,菅原典子,曾木千純,藤島史喜,和田基	外科病態学講座(小児外科学分野)(臨床)	外科病態学講座(小児外科学分野)(臨床)	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症に対し脳死小腸移植を施行した1女児例	移植 57巻1号 pp.133-139 (2022.05)	Original Article
66	香取 幸夫	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	【結果の読み方がよくわかる! 耳鼻咽喉科検査ガイド】音声障害の検査 喉頭筋電図検査	耳鼻咽喉科・頭頸部外科(0914-3491)94巻5号 Page304-308(2022.04)	Original Article
67	香取 幸夫	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	【手術に役立つ臨床解剖】嚥下障害に対する手術	耳鼻咽喉科(2436-5726)2巻1号 Page60-85(2022.07)	Original Article
68	山内正憲,五十嵐あゆみ	外科病態学講座(麻酔科学・周術期医学分野)(臨床)	外科病態学講座(麻酔科学・周術期医学分野)(臨床)	【小児慢性疼痛の現状と診療】治療・対応 小児慢性痛へのオピオイドの問題と対応.	ペインクリニック vol. 43 p. 1246-54	Review
69	山本 宣幸	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	【今こそ学び直す!生理学・解剖学 あの時き学んだ知識と臨床経験をつないで、納得して動く!】(第6章)頸部・上肢 肩関節	レジデントノート 23巻8号 P1266-1271(2021.08)	Original Article

70	山本 宣幸, 船越 忠直		外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	肩関節脱臼の基本的な治療方針と最近のトピックスについて 治療は初回脱臼に対するものと反復性脱臼に対するものに分かれる	日本医事新報 5086号 P50-51(2021.10)	Original Article
71	小黑 草太, 大田 英那, 高瀬 圭		内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	【もう一度勉強しよう】地域医療のための原発性アルドステロン症【原発性アルドステロン症の治療 ラジオ波焼灼術】	地域医学(0914-4277)36巻3号 Page227-231(2022.03)	Review
72	神宮 啓一, 高橋 結善, 角谷 倫之		内科病態学講座(放射線腫瘍学分野)(臨床)	MR画像誘導放射線治療の日本における展望	医用画像情報学会雑誌 39(4) 68-69 2022年12月	Review
73	正宗 淳, 清水 雅仁, 日野 啓輔		内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	【肝胆障害とサルコペニア】サルコペニアの現状と未来	肝胆臓 85:251-260	Others
74	正宗 淳, 清水 京子, 糸井 隆夫		内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	【診療ガイドライン改訂後の慢性肝炎】慢性肝炎の現状と課題	肝胆臓 84: 379-390	Others
75	青木 英和, 内田 奈生, 藤原 幾磨, 宮崎 治		内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	画像診断 今月の症例 尿膜管遺残	小児科臨床(0021-518X)75巻2号 Page177-179(2022.04)	Others
76	浅野 善英		神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	【これ1冊! 皮膚科領域における膠原病診療の極意】強皮症の診断と治療の極意	Derma.(1343-0831)326号 Page1-10(2022.09)	Others
77	浅野 善英		神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	【新規治療-炎症性-】全身性強皮症の新規治療	皮膚病診療(0387-7531)44巻6号 Page472-477(2022.06)	Others
78	浅野 善英		神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	【全身性強皮症-最新の話題-】基礎 血管障害の病態	皮膚科(2436-570X)1巻5号 Page579-585(2022.05)	Others
79	田中 哲洋		内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	【腎臓症候群(第3版)-その他の腎臓疾患を含めて-[V]】保存期腎不全 腎性貧血	日本臨床別冊腎臓症候群IV Page15-18	Original Article
80	富田 博秋, 國井 泰人, 白倉 隆, 瀬戸 萌, 佐藤 博俊, 角藤 芳久		神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	新興感染症・パンデミックにおける精神科的危機介入 ~COVID-19・パンデミックがもたらす教訓~特集「多様性が求められる精神科的危機介入」	精神科治療学 37 巻 2 号, p.171-176	Original Article
81	富田 博秋, 庄子 朋香, 長 神 風 二		神経・感覚器病態学講座(精神神経学分野)(臨床)	東北メディカル・マガバンク事業によるコホート研究とその精神医学への貢献の可能性. 精神医学を基礎づける疫学研究と臨床研究	《精神医学の基礎》6巻 p48-57	Others
82	鈴木 佑輔, 齋木 佳克		外科病態学講座(心臓血管外科学分野)(臨床)	【胸部外科の緊急手術up to date】大動脈疾患 胸部大動脈瘤破裂	胸部外科(0021-5252)75巻10号 Page753-758(2022.09)	Original Article
83	鈴木 佑輔, 熊谷 紀一郎, 齋木 佳克		外科病態学講座(心臓血管外科学分野)(臨床)	【進化するカテーテル・インターベンション-適応の広がり】とデバイス革新【大動脈疾患に対する血管内治療 大動脈疾患における血管内治療】	循環器ジャーナル(2432-3284)70巻3号 Page499-505(2022.07)	Original Article
84	鈴木 淳		神経・感覚器病態学講座(耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)(臨床)	【超高齢社会における難聴・耳鳴への対応】Hidden hearing loss(隠れ難聴)とAPD(聴覚情報処理障害)	日本医師会雑誌(0021-4493)151巻3号 Page393(2022.06)	Original Article



85	角田 洋一	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	【潰瘍性大腸炎内科診療の新時代】チオプリン製剤投与の最適化	医学と薬学,79巻11号,1479-1484	Others
86	浅野 善英	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	【病態から考える薬物療法】(第VIII章)膠原病 強皮症	皮膚科の臨床(0018-1404)64巻5号 Page780-787(2022.04)	Others
87	浅野 善英	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	【膠原病】臨床 限局性強皮症最近の知見	皮膚科(2436-570X)1巻1号 Page68-78(2022.01)	Others
88	城田英和	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	CAF(がん関連線維芽細胞)	がん免疫ペディア p.150-151	Others
89	玉田 勉	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	COPDと気管支喘息、その周辺疾患—病態・診断・治療の最新動向— COPDの治療と管理 LAMA/LABA/ICS	日本臨床, vol.80, p392-399	Review
90	玉田 勉	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	JCL2021の改訂点とGINA2021との比較 GINA2021ステップダウンの考え方	アレルギーの臨床, vol.42, p193-196	Review
91	城田英和	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	がんゲノム医療中核拠点病院、拠点病院、連携病院とは	がんゲノム医療に携わる病院職員のためのテキスト p.5-15	Others
92	亀井尚	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	がん手術療法における栄養管理総論	JSPENコンセンサスブック①がん:p 111-115	Others
93	金森 肇	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	ココが知りたい紫外線照射による環境消毒—医療現場で使いこなすコツ	単行本 ヴァンダダイカル	Others
94	石岡千加史	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	ここまでのきた 分子標的薬・抗体製剤の最新情報 from A to Z(No.6) 胃がん、大腸がんの分子標的薬	日本医師会雑誌 vol.150 p.2012-2013	Review
95	石岡千加史	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	ここまでのきた 分子標的薬・抗体製剤の最新情報 from A to Z(No.7) 食道がん、肝がん、胆道がん、膵がんの分子標的薬	日本医師会雑誌 vol.150 p.2208-2209	Review
96	石岡千加史	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	ここまでのきた 分子標的薬・抗体製剤の最新情報 from A to Z(No.8) 消化器領域の希少がんの分子標的薬	日本医師会雑誌 vol.151 p.74-75	Review
97	角田 洋一	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	チオプリン製剤とカルシニューリン阻害薬	日本臨床, 80 巻, 444-448	Others
98	赤松 大二朗	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	下肢静脈瘤(私の治療)	日本医事新報(No. 5107)	Others
99	大沼 忍	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	解剖生理、疾患、治療、ケア。これだけ読めばまるごとわかる！先輩ナース直伝”やさしい”消化器看護ノート、大腸	消化器ナーシング;27(4):56-69.	Others

100	今井啓道	外科病態学講座(形成外科 学分野)(臨床)	外見の問題に対する形成外科の挑戦	宮城県医師会報, vol.923, p.934-937	Others
101	浅野 善英	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	基礎医学 Up-To-Date 強皮症に伴う血管病変の機序	Pulmonary Hypertension Update(2189-4434)8巻1号 Page44-48(2022.05)	Others
102	宮崎真理子	内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	宮城県における新型コロナウイルス感染症の現況	宮城県腎不全研究会誌49回 Page48-55	Original Article
103	金森 肇	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	金森先生が選ぶ 2022年論文・ガイドラインBest 5	インフェクションコントロール vol.31 p.1268-1274	Others
104	角田 洋一	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	眼局性の潰瘍性大腸炎の分子生物学的な特徴から病変範囲の進展のメカニズムとその予測因子が明らかとなった	IBD Research,16(4),266-267	Others
105	外山裕章	外科病態学講座(麻酔科学・周術期医学分野)(臨床)	呼吸機能評価	麻酔における気道管理の知識と手技を知る. pp36-43	Others
106	安田聡	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	抗血栓療法のエビデンス	循環器疾患 最新の治療 2022-2023, 南江堂, P419-422, 2022.	Others
107	横山 寿行	内科病態学講座(血液内科学分野)(臨床)	高齢者骨髄異形成症候群治療における脱メチル化薬と同種造血幹細胞移植の位置づけ	血液内科85巻4号 Page610-617(2022.10)	Others
108	山内正徳, 大西詠子	外科病態学講座(麻酔科学・周術期医学分野)(臨床)	腰痛・腰下肢痛の評価法	腰痛・腰下肢痛診療のキーポイント PP46-51	Others
109	横山 寿行	内科病態学講座(血液内科学分野)(臨床)	骨髄系腫瘍におけるクリニカルシークエンス	血液内科84巻2号 Page217-223(2022.02)	Others
110	玉田 勉	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	最新ガイドラインと今後の喘息治療の展望 治療におけるステップダウンのポイント	呼吸器内科, vol.42, p275-282	Review
111	今井淳太	内科病態学講座(糖尿病代謝内科学分野)(臨床)	災害と糖尿病 東日本大震災研究より得られた知見	内科 129(5) 1181-1183	Review
112	浅野 善英	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 好酸球性筋膜炎	日本医事新報(0385-9215)5112号 Page49(2022.04)	Others
113	亀井尚	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	重複大動脈弓を有する高度進行食道癌症例に対する両側胸腔鏡手術(1枚のシエーマ)	胸部外科:75(4):272	Others
114	久志本成樹	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	心外傷(心タンポナーデを含む)	今日の治療指針2022年版, 総編集: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 編, 医学書院, 東京, 2022. Pp58-59.	Review

115	安田 聡	内科病態学講座(循環器内科学分野)(臨床)	進化するカテーテルインターベンション	進化するカテーテルインターベンションー 適応の広がりやデバイス革新 岸文 循環器ジャーナル 70巻3号 P346-347 2022	Others
116	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第1回) Schopenhauer(ショーペンハウアー)の思想と医療機器開発の目的	画像診断(0285-0524)42巻8号 Page814-815(2022.06)	Review
117	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第2回) Schopenhauer(ショーペンハウアー)の言葉に学ぶ医療機器開発の3段階	画像診断(0285-0524)42巻9号 Page936-937(2022.07)	Review
118	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第3回) 医療機器開発段階の自験例と課題	画像診断(0285-0524)42巻10号 Page1058-1059(2022.08)	Review
119	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第4回) 医療機器開発の3つの障壁	画像診断(0285-0524)42巻12号 Page1182-1183(2022.09)	Review
120	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第5回) 薬事承認から保険収載に向けて	画像診断(0285-0524)42巻13号 Page1298-1299(2022.10)	Review
121	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	人を幸せにする医療機器開発 Schopenhauerの哲学に学ぶ(第6回)(最終回) 薬事承認後から保険収載まで(その2)	画像診断(0285-0524)42巻14号 Page1428-1429(2022.11)	Review
122	今井啓道	外科病態学講座(形成外科学分野)(臨床)	随想: Empathy and Sympathy	形成外科, vol.65, p.981	Others
123	片桐秀樹	内科病態学講座(糖尿病代謝内科学分野)(臨床)	臓器間ネットワークによる恒常性と代謝疾患	日本内科学会雑誌 111(9) 1835-1840	Review
124	横山 寿行	内科病態学講座(血液内科学分野)(臨床)	造血器腫瘍における遺伝子パネル検査	検査と技術50巻10号 Page1134-1137(2022.10)	Others
125	中川 圭, 伊関雅裕, 青木修一, 水間正道, 海野倫明	外科病態学講座(消化器外科学分野)(臨床)	胆嚢疾患診療の最前線 I.総説 2. 胆嚢癌の疫学	肝胆膵; 85(4):475-480.	Others
126	今井啓道	外科病態学講座(形成外科学分野)(臨床)	腸骨採取(ブロック骨・海綿骨)	形成外科基本手技01, vol., p.203-214	Others
127	鈴木匡子	機能医科学講座(高次機能障害学分野)(臨床)	超選択的Wadaテストによる高次脳機能の術前評価	神経心理学; 38(3), 203-208, 2022	Original Article
128	今井啓道	外科病態学講座(形成外科学分野)(臨床)	長期経過を見据えた初回片側口唇裂手術: Extended Mohler切開	PEPARS, vol.186, p.11-17	Original Article
129	角田 洋一	内科病態学講座(消化器病態学分野)(臨床)	潰瘍性大腸炎の診断に有用な新たな自己抗体マーカー	医学のあゆみ; 282巻11号, 1013-1014	Others

130	金森 肇	内科病態学講座(総合感染症学分野)(臨床)	伝染性紅斑	今日の治療指針2023年版 医学書院 p.207-208	Others
131	石岡千加史	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	東北次世代がんプロ養成プランの成果、課題と今後の展望	癌と化学療法 vol.49 p.516-519	Others
132	相澤 俊峰	外科病態学講座(整形外科学分野)(臨床)	難治性脊椎疾患に挑む	東北医学雑誌 133巻2号 P179-181(2021.12)	Original Article
133	中里 信和	機能医科学講座(てんかん学分野)(臨床)	脳磁計開発+B9:B15の黎明期	Brain Nerve 74: 1295-1301	Original Article
134	藤村 卓	神経・感覚器病態学講座(皮膚科学分野)(臨床)	皮膚科領域における癌ゲノムパネル検査の可能性	Skin Cancer 2022; 37(2)	Others
135	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	沸騰放射線 原発性アルドステロン症のラジオ波焼灼治療 疾患の基本,医師主導治療から保険収載まで[第1回] 疾患概念と治療の実際	臨床画像(0911-1069)38巻6号 Page690-703(2022.06)	Review
136	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	沸騰放射線 原発性アルドステロン症のラジオ波焼灼治療 疾患の基本,医師主導治療から保険収載まで[第2回] 開発から医師主導治療までの経緯	臨床画像(0911-1069)38巻8号 Page959-968(2022.08)	Review
137	高瀬 圭	内科病態学講座(放射線診断学分野)(臨床)	沸騰放射線 原発性アルドステロン症のラジオ波焼灼治療疾患の基本,医師主導治療から保険収載まで[第3回] 治療結果から申請承認まで	臨床画像(0911-1069)38巻10号 Page1226-1239(2022.10)	Review
138	宮崎真理子	内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	慢性腎臓病	日本内科学会雑誌111巻3号 Page526-531	Original Article
139	宮崎真理子	内科病態学講座(腎・膠原病・内分泌内科学分野)(臨床)	慢性腎臓病(CKD)の進行抑制と心血管イベント防止の戦略	秋田腎不全研究会誌25巻 Page15-21	Original Article
140	玉田 勉	内科病態学講座(呼吸器内科学分野)(臨床)	免疫・アレルギー性肺疾患 トピックスII サルコイドーシス	日本内科学会雑誌, vol.111, p2084-2093	Review
141	城田英和	内科病態学講座(臨床腫瘍学分野)(臨床)	連携の課題ーがんゲノム医療施設間の連携の課題ー 全国がんプロ協議会・ゲノム医療部会報告	癌と化学療法 vol.49 p.997-999	Review
142	今井啓道	外科病態学講座(形成外科学分野)(臨床)	肋骨助軟骨採取	コンパス 顔面骨骨折の治療 ベーシック, vol., p.105-114	Others
143	久志本成樹	外科病態学講座(救急医学分野)(臨床)	脾損傷	今日の治療指針2022年版.総編集: 福井 次夫, 高木 誠, 小室一成 編, 医学書院, 東京, 2022. Pp65-66.	Review
144	金森 政之, 斎藤 竜太, 下田 由輝, 富永 大二	神経・感覚器病態学講座(神経外科学分野)(臨床)	膠芽腫輸出における5-アミノレブリン酸による蛍光診断の意義.	日本レーザー医学会誌, in press	Original Article

145	後藤昌史	移植再生医学分野	腭島移植の現状と展望	BIO Clinica 37(12): 1084-1088, 2022	Others
146	日原 大貴, 島田 栄理達, 佐原 資道, 菅野 彰剛, 北山 ちひろ, 中里 信和, 金高 弘恭	咬合回復科	味刺激時誘発磁界を用いたヒトの舌、口蓋におけるうま味受容の検討	日本生体磁気学会誌 35号 vol.1 p144-145	Others
147	島田 栄理達, 遠藤 千晶, 西村 壽晃, 五十嵐 薫	顎口腔機能治療部	東北大学病院における第一第二嚙臼症候群の診断と治療について	東北矯正歯科学会雑誌 30号 vol.1 p75-79	Others
148	菅原 由美子, 佐藤 しづ子, 野上 晋之介, 千葉 雅俊, 庄子 憲明, 高橋 哲, 江草 宏, 佐々木 啓一, 五十嵐 薫, 飯久保 正弘	顎口腔画像診断科	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大に伴う東北大学病院歯科診療部門のオンライン診療の現状	東北大学歯学雑誌 39(2),40(1),40(2),41(1)合併号 p19-25	Original Article
149	Noguni S, Yananuchi K, Izumita K, Kitamura J, Takeda Y, Otake Y, Koyama S, Okuyama K, Sasaki K, Takahashi T	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	Clinical course of masticatory function recovery following arthrocentesis in patients with unilateral mandibular condyle head fracture	J Craniomaxillofac Surg 2022 Mar;50(3):225-229.	Original Article
150	日原大貴, 島田栄理達, 佐原資道, 菅野彰剛, 北山ちひろ, 中里信和, 金高弘恭	咬合回復科	味刺激時誘発磁界を用いたヒトの舌、口蓋におけるうま味受容の検討	日本生体磁気学会誌, 35(1):144-145, 2022	Original Article
151	松井桂子, 高橋 哲, 川井 忠, 野上晋之介, 山内健介	歯科顎口腔外科(形態機能グループ)	リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体(OCP/Col)埋入顎裂部に形成された骨架橋への犬歯萌出症例	日本口蓋顎学会雑誌 47(1): 45-53, 2022	Original Article

計151件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価を行うことの評価対象となる論文の記載方法を記載すること。  
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発および評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準ずること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会貢献の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容	

臨床研究法と倫理指針の見直しについて、医薬品の承認審査～研究開発から国際調和まで～、臨床研究における同意取得と電子的同意の概要、臨床研究の品質の維持・向上への取り組み、事例を踏まえた臨床研究実施時の留意点2022、臨床研究と知的財産、臨床研究と産学官連携、医薬品医療機器等法改正に伴う治験使用薬の管理、治験・臨床研究等における有害事象について、生命・医学系指針の改正と個人情報保護法

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、併行して大学院で学位を取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。

新専門医制度による専門医研修において、19の基本領域全ての専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャリティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 104.8 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
阿部 倫明	内科(総合診療科)	准教授	29年	
安田 聡	循環器内科	教授	36年	
金森 肇	総合感染症科	講師	19年	
田中 哲洋	腎臓・高血圧内科	教授	28年	
張替 秀郎	血液内科	教授	37年	
藤井 博司	リウマチ・膠原病内科	准教授(特命教授)	27年	
片桐 秀樹	糖尿病代謝・内分泌内科	教授	36年	
角田 洋一	消化器内科	講師	23年	
富田 尚希	加齢・老年病科	助教(院内講師)	22年	
高山 真	漢方内科	准教授	26年	
福土 審	心療内科	教授	40年	
玉田 勉	呼吸器内科	准教授	29年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	39年	
海野 倫明	総合外科(肝胆膵・移植グループ)	教授	37年	
大沼 忍	総合外科(下部消化管グループ)	准教授(特命教授)	29年	
亀井 尚	総合外科(上部消化管・血管グループ)	教授	32年	
石田 孝宣	総合外科(乳腺・内分泌グループ)	教授	36年	



和田 基	総合外科(小児外科グループ)	教授	29年
齋木 佳克	心臓血管外科	教授	33年
相澤 俊峰	整形外科	教授	34年
今井 啓道	形成外科	教授	30年
岡田 克典	呼吸器外科	教授	35年
山内 正憲	麻酔科	教授	32年
齋藤 昌利	婦人科/産科	教授	24年
伊藤 明宏	泌尿器科	教授	33年
青木 正志	脳神経内科	教授	33年
金森 政之	脳神経外科	准教授	28年
富田 博秋	精神科	教授	34年
菊池 敦生	小児科・小児腫瘍科	教授	21年
浅野 善英	皮膚科	教授	25年
針谷 威寛	眼科	助教	17年
香取 幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	35年
海老原 覚	リハビリテーション科	教授	33年
高瀬 圭	放射線科	教授	34年
古川 宗	救急科	助手	24年
藤島 史喜	病理部	准教授	24年
山田 聡	歯科(歯周病科)	教授	29年
山内 健介	歯科顎口腔外科	教授	24年
山田 亜矢	小児歯科	准教授(特命教授)	28年
溝口 到	矯正歯科	教授	40年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：看護実践を担う看護職員に対して、ジェネラリストとしての看護実践能力向上とキャリア開発のために「東北大学病院看護部看護実践能力開発システム（TNADS）」を導入している。TNADSの柱としてクリニカルラダーがあり、看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の4領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組み集合・オンラインで実施している。
- ・研修の期間・実施回数：令和4年4月～令和5年3月 ・実施回数：52回
- ・研修の参加人数：延べ2,914人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：質の高い看護を提供するために、看護管理者が人材の育成に関わりながら組織運営に関する資質を高める支援についての研修を、集合・オンラインで実施している。
- ・研修の期間・実施回数：令和4年4月～令和5年3月 ・実施回数：5回
- ・研修の参加人数：延べ361人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 富永 悌二
管理担当者氏名	総務課長 木村 賢一・医事課長 末永 洋子

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	電子カルテ
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進室
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課及び医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
		従業者数を明らかにする帳簿は、人事システムで管理している。高度な医療の研修の実績については、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の提供については、診療科・研究推進室等からデータをもらい、年度ごとに一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。患者数については、月ごとに集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、毎月集計し、電子媒体で管理している。その他については、各部署で月ごとや年ごとに管理している。	
規則第一一条の	規則第一一条の	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	地域医療連携課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
			年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課 年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	院内感染対策のための委員会の開催状況		
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		
	医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管(医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書)。
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室	都度、電子ファイルで保管。
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室	毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況		
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	会議資料等を毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室	会議資料を電子ファイルで保管。
			地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
		職員研修の実施状況		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況		
管理者が有する権限に関する状況	総務課	紙媒体を簿冊として保管している。		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況				
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 富永 悌二
閲覧担当者氏名	総務課長 木村 賢一・医事課長 末永 洋子
閲覧の求めに応じる場所	・会議室
閲覧の手続の概要 閲覧については、諸記録ごとの管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』</p> <p>(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。</p> <p>(2) 医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的に行う。</p> <p>(3) 医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。</p> <p>(4) 上記3つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。</p> <p>① 医療安全管理責任者            本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。</p> <p>② 医療安全推進委員会            本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。            イ 分類別、職種別、レベル別の月間分析結果            ロ 分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果            ハ レベル3b以上の事案についての詳細とその改善状況            ニ 警鐘的事例に関すること            ホ その他、重大事例に関すること</p> <p>③ 医療安全推進室            医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。</p> <p>④ 専門部会            医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。            イ マニュアル作成部会            ロ 標準化推進部会            ハ 広報・教育部会            ニ インシデント審議部会</p> <p>⑤ リスクマネジャー会議            医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。</p> <p>⑥ 医薬品安全管理室            本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑦ 医療機器安全管理室            本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑧ 医療放射線安全管理室            本院における医療放射線の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。</p> <p>⑨ インシデント対応委員会            本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応について病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。</p>	



<p>⑩ 医療事故調査委員会 医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。</p> <p>⑪ 特別医療事故調査委員会 病院長は、医療法第6条の10第1項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第6条の11第1項に規定する医療事故調査等を行う。</p> <p>⑫ 高難度新規医療技術 高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。</p>	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容： 医療安全推進委員会 以下の内容についての審議及び報告を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療に関する安全管理指針に関すること。</li> <li>・ 医療の安全管理体制の確保に関すること。</li> <li>・ 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。</li> <li>・ 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>・ 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。</li> <li>・ 医薬品、医療機器及び医療放射線の安全管理に関すること。</li> <li>・ 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。</li> <li>・ 上記の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。</li> <li>・ 上記に関する改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。</li> <li>・ 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。</li> <li>・ 上記に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。</li> <li>・ その他医療の安全管理等に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年19回</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全に係る情報提供</li> <li>・ 医療安全に関する意識の向上のための情報提供</li> <li>・ 医療安全に関する基本的知識の確認</li> <li>・ 医療事故事例の紹介</li> </ul> </li> </ul>	
<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。</li> <li>事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。</li> <li>重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。</li> </ul> </li> </ul>	

毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び3b以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月1例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。

毎年度1回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRMが、月数回、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>・感染対策のための委員会</li> <li>・感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>・感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・その他の感染対策の推進のために必要な指針</li> </ul> <p>『東北大学病院における感染対策の指針』</p> <p>医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策並びに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染対策のための委員会             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。</li> <li>2) 感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染防止対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。</li> <li>3) 当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。</li> <li>4) 感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT(Infection Control Team)を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。</li> <li>5) 抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST(Antimicrobial Stewardship Team)を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。</li> </ol> </li> <li>2. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。</li> <li>2) 感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年2回以上の講習会を実施する。</li> <li>3) ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。</li> </ol> </li> <li>3. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。</li> <li>2) 感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。</li> <li>3) 感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。</li> <li>4) 感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。</li> </ol> </li> </ol>	<p>有</p>

<p>4. 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。</li> <li>2) 患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。</li> <li>3) 当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。</li> <li>4) 死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。</li> <li>5) 集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健所や東北厚生局など外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公表の必要性と方法を協議し、病院長が決定する。</li> </ol> <p>5. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 本指針は患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合はこれに応じるものとする。</p> <p>6. その他の感染対策の推進のために必要な指針 感染対策マニュアルなど、その他の感染対策の推進のために必要な指針は、別途定める。</p>	
<p>② 院内感染対策のための委員会の開催状況</p>	<p>年12回</p>
<p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。</li> <li>・重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</li> <li>・院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。</li> <li>・院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li> <li>・医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。</li> <li>・感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。</li> </ul>	
<p>③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況</p>	<p>年5回</p>
<p>・研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）</li> <li>・院内感染管理に則した研修（感染対策に関するインターネット研修会）</li> </ul>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。</li> </ul>	

また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の4職種が、毎週、週1回、全病棟30部署のラウンドを実施または、外来・中央診療部門もラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年23回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修</li> <li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修</li> <li>・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務</li> <li>・ 医薬品の管理に関する業務</li> <li>・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務</li> <li>・ 患者に対する与薬</li> <li>・ 未承認等医薬品の使用に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> <li>内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品(全309件,令和4年度対象品目)や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑義照会事例、副作用報告事例、インシデント事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知</li> <li>・ 医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟(月1回)及び外来診療科(2~3ヶ月に1回)の巡視を実施</li> <li>・ 医薬品安全管理室巡視を毎年実施</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無											
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 59回											
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施</li> <li>○特定機能病院における定期研修について、年2回以上定期的に研修を実施</li> <li>○医療機器の有効性・安全性に関する事項</li> <li>○医療機器の使用法に関する事項</li> <li>○医療機器の保守点検に関する事項</li> <li>○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項</li> <li>○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項</li> <li>○その他新規採用者及び中途採用者・復職者を対象とする研修を実施</li> </ul>												
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況												
<p>医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</p> <p>機器ごとの保守点検の主な内容：</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>保守点検の主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>人工心肺装置及び補助循環装置</td></tr> <tr><td>人工呼吸器</td></tr> <tr><td>血液浄化装置</td></tr> <tr><td>除細動装置</td></tr> <tr><td>閉鎖式保育器</td></tr> <tr><td>CTエックス線装置</td></tr> <tr><td>診療用高エネルギー放射線発生装置</td></tr> <tr><td>診療用放射線照射装置</td></tr> <tr><td>磁気共鳴画像診断装置</td></tr> </tbody> </table>	機器	保守点検の主な内容	人工心肺装置及び補助循環装置	人工呼吸器	血液浄化装置	除細動装置	閉鎖式保育器	CTエックス線装置	診療用高エネルギー放射線発生装置	診療用放射線照射装置	磁気共鳴画像診断装置	<p>始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検</p>
機器	保守点検の主な内容											
人工心肺装置及び補助循環装置												
人工呼吸器												
血液浄化装置												
除細動装置												
閉鎖式保育器												
CTエックス線装置												
診療用高エネルギー放射線発生装置												
診療用放射線照射装置												
磁気共鳴画像診断装置												
<p>上記保守点検について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録</li> <li>② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し</li> </ol>												
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況												
<p>医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</p> <p>未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○放射線診断科における末梢動脈瘤治療のための未承認ステント (MFM) の使用：0件</li> <li>○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用：6件</li> <li>○肢体不自由リハビリテーション科における上下肢麻痺を治療するためのパスリーダーの適用外使用：179件</li> <li>○心臓血管外科における大動脈瘤治療のためのMFMの未承認使用：1件</li> <li>○保存修復科 (歯内療法科) における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントを適用外使用する：31件</li> <li>○心臓血管外科における人工弁周囲逆流閉鎖のためのAVP II の適用外使用：0件</li> <li>○小児の外傷性大動脈損傷に対するEVARデバイスの適用外使用：0件</li> <li>○膀胱に対する放射線治療における位置照合のための放射線治療マーカー (visicoil) の適用外使用：5件</li> <li>○食道癌手術における再建臓器挙上時の周囲臓器保護のための人体開口部用超音波プローベカバーの適用外使用：52件</li> <li>○末梢ルート確保困難症例において、緊急時に造影剤注入適応の無いCVカテーテル (従来品) を用いて造影剤注入を実施する適用外使用：10件</li> </ul>												

- 呼吸器外科における胸腔鏡手術のためのNK綿棒の適用外使用：315件
- 集中治療部における、COVID19のECMO患者に対しての、アナコンダを用いたECMOからの吸入麻酔薬直接投与のための適用外使用：0件
- 形成外科における高度な上顎低形成を呈する患者のための国内未承認医療機器 The Leipzig retention plate setの未承認使用：1件
- 小児の再発性大動脈縮窄症に対するExcluderの適応外使用：1件
- Chimney/periscope法を用いた腹部大動脈ステントクラフト治療における腎動脈・上腸間膜動脈へのVIABAHNステントグラフトの使用：2件
- 静脈疾患に対する末梢動脈用ステントの使用：2件
- 腕頭動脈・腋窩動脈・総頸動脈・大腿動脈損傷に対する緊急止血処置としてのVIABAHN使用：0件

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 未承認等医療機器を使用した診療に関しての届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。
- 添付文書等の管理
- 医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告
- 毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として医療安全担当副病院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （有・無）</p>	

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：  
・文章による同意が必要な医療行為

- ・説明者
- ・複数の診療科が関わる場合（合同手術・依頼によって行われる検査・処置等）
- ・説明と同意の方法
- ・説明・同意書の運用
- ・説明の内容
- ・説明時の同席者
- ・説明の相手方
- ・同意の確認
- ・説明と同意に関する診療記録への記録
- ・緊急に医療行為が必要な患者の場合
- ・同じ治療を繰り返す場合の説明と同意のあり方 等

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療記録等に必要な事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームド・コンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（2）名
- うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（2）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

◎医療安全推進室

- (1) 医療安全推進委員会に係る事務に関すること。
- (2) 医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。
- (3) 医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。
- (4) 医療安全管理マニュアルに関すること。

- (5) 医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。
- (6) 医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。
- (7) 患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
- (8) 医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。
- (9) 事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。
- (10) 医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。
- (11) 医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
- (12) 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（9件）、及び許可件数（12件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
  - ・高難度新規医療技術担当部門の設置について
  - ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
  - ・体制に変更があった場合の確認について
  - ・高難度新規医療技術評価委員会について
  - ・報告及び通知について
  - ・実施状況等の確認について
  - ・センター長及び病院長への報告について
  - ・病院長からの停止命令について
  - ・審査資料等の保管について
  - ・秘密の保持について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（2件※R3年度

申請品目も含む)

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (  有・無 )
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  有・無 )
- ・活動の主な内容：
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
  - ・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
  - ・未承認新規医薬品評価委員会について
  - ・報告及び通知について
  - ・使用状況等の確認について
  - ・センター長及び病院長への報告について
  - ・審査資料等の保管について
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有・無 )
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  有・無 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年545件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年95件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - (1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
  - (2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
  - (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
  - (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
  - (5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
  - (6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
  - (7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
  - (8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
  - (9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
  - (10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院

長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。

- (11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
- (12) その他医療の安全管理等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：信州大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：富山大学附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web 訪問調査となった。

○信州大学医学部附属病院へ

・インシデント報告は、医師報告も多く、適切と考える。オカレンス報告制度ではインシデントとは別の視点でオカレンスが収集されており、医療安全管理部門がプロアクティブに活動していることがわかり優れた取り組みである。今後医療機器管理がますます重要になることを鑑み、臨床工学技士からのインシデント報告が増えると良いと思う。

・医療安全研修では、コロナ禍の中でも工夫をして参加型研修を行い、またオンデマンドでもコンテンツ内容や時間を工夫して受講しやすくしており、高く評価される。

・高難度新規医療技術では倫理的な面は倫理委員会で審査し、評価委員会は技術的な面を評価するなど分担して慎重に評価する体制となっている。高難度新規医療技術の報告が基本的に2週間後のみだが、技術に応じて期間を延ばすなどの対応があるとなお良いと思う。また説明書について、高難度新規医療技術として説明が必要な項目については予めひな形にしておくなどすれば、申請者・審査者の負担軽減につながると思う。

・医薬品の安全管理体制に関して、適切と考える。内服抗がん薬のみのがん治療に関して、レジメン管理をしていないが院外の保険薬局と治療内容の共有をする仕組みがあれば良いと思う。また未承認新規医薬品等の使用の適否を決定する部門が、未承認新規医薬品と高度管理医療機器の両方を担当することになっており担当者が分かれているが、専門性が大きく異なるため将来的には部門を分けることも検討されても良いかと思う。

・外部監査委員会も内容を工夫し、1回目に出た意見に2回目に対応し意見交換をするなど工夫して取り組んでいる。

・病院の規模や役割を考えると、看護師 GRM は2名は必要と思う。看護師 GRM に関して現在の体制を維持するとともに、医療安全を専らの業務とする医師の増員についてもご検討いただければと思う。

○富山大学附属病院から

- ・医療安全について

医療安全管理部門に必要な人員が配置され、各々が医療安全推進に向けて活動していることを確認した。一方で、病院規模とインシデント報告が最も多い看護部門に対する現場での調査確認やフィードバック等の業務を考慮すると、マンパワーがやや不足している様に思われるので、医療安全部門における看護師の配置人数の見直しについてご検討されることを提案する。

医療安全上の問題に対するモニタリングを適切にされていることを確認した。

インシデント報告数については、オカレンス報告数と合わせると、概ね適正な数の報告が収集されていることを確認した。

・医薬品等について

医薬品安全管理室に多くの機能を集約し、適応外や禁忌薬品、未承認新規医薬品の使用に関して、医薬品安全管理室がコアとなって機能的に活動していることを確認した。処方監査のプロセスの中でチェックが入る仕組みや、承認されなければレジメンを適応できないシステムに作り込まれているという点で、医薬品が安全に使用される体制が整えられていることを確認した。特に、適応外等医薬品の使用状況の把握とその後のフォローアップを含めての取り組みについては非常に高く評価できる。

・高難度について

高難度新規医療技術の審査部門を手術部に配置して、現場で申請漏れがないか監視しながら、検討、承認がされている。また、高難度新規医療技術として取り扱う期間を1年または5例の報告終了時点というように、明確な基準を設けて取り扱われているという点も含めて、適切かつ合理的に行われていることを確認した。

・外部監査について

監査委員会の構成員及び開催回数について、省令で定められた要件を満たしていることを確認した。また、詳細にチェックがなされ、指摘事項について適切に対応されており、外部監査が実効的に行われていることを確認した。一方で、内容においては、具体的な現場の対策に関する監査が中心であり、大きなシステム的な部分を見るという点では、近隣の大学病院の医療安全を担当している医師にも参加していただくなどの構成メンバーの見直しも検討いただきたい。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和5年1月16日に専門医更新のための医療安全講習会（インフォームド・コンセント(IC)を考える）、同年1月25日に医療倫理に関する講演会（京都大学での臨床倫理の取り組みと課題）を実施。

令和4年度はその他は概ね e-learning を用いた研修を実施した。特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。

また、特定のテーマを定め、ブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。

る。(インスリン製剤の基本と最前線、転倒による頭部外傷)

なお、平成29年度からは医薬品安全研修が開催されており、現在では e-learning を活用して研修を実施している。

実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているグラジオラス通信トリビア編によって検証している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構主催の2022年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講

管理者：令和5年2月14日

医療安全管理責任者：令和5年2月3日

医薬品安全管理責任者：令和5年1月26日

医療機器安全管理責任者：令和5年2月3日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価(主たる機能種別「一般病院3」)の本審査を2020年11月に受審した。その後、2021年4月に補充的審査の受審を経て、同年6月4日付けで「条件付認定(6ヶ月)」という結果になった。条件付認定の場合、同機構から提示された改善要望事項に関して確認審査を受審する必要があるため、2022年5月25日に確認審査を受審し、同年7月8日付けて「条件付解除」となり、正式な「認定」となった。

当院は「高難度新規医療技術の実施後確認」「注射薬投与時の機械認証」「病理診断結果報告書の未読確認」について改善要望事項を示されており、これらに関して改善対策を講じ、継続的な実施を行い、一定の水準に達していると評価された。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本医療機能評価機構のウェブサイトにて「一般病院3」の審査結果が公表されている。

・評価を踏まえ講じた措置

(高難度新規医療技術の実施後確認)

高難度新規医療技術に関する同意書の様式を改訂し、自院における実績や術者の経験、新規医療技術であるが故のリスクを記載するようにした。報告間隔を1年毎から半年毎に変更し、さらに診療科からの報告だけでなく、担当部署も直接診療録等を確認するようにした。

(注射薬投与時の機械認証)

注射剤の準備及び投与時のフローの見直しとダブルチェック手順について現状分析と目標設定の検討を行い、注射実施時の業務フロー及び注射剤の確認手順を見直した。注射オーダのある施用単位払出注射剤は、薬剤調整時の確認を簡略化し、誤薬防止に観点から投与直前には携帯情報端末を用いた機械認証を必須とする業務フローとした。この業務フローの変更について、看護師長会および看護部委員会(QM委員会)を通じて各部署への周知と徹底を図った。その後、部署ラウンドによるヒアリングと現場確認、各看護職員の認証実施率を経時的にモニタリングし遵守状況を可視化した。注射認証実施率の低い部署については、個別にヒアリングを行うとともに、各看護職員への指導を行い、誤薬防止策の徹底を図っている。

(病理診断結果報告書の未読確認)

病理所見の未読に関しては誰がどのレポートを確認していないかを明示したリストを作成し各診療科宛にリマインドを実施している。

(注) 記載時点の状況を記載すること



規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p>
<p>・ 基準の主な内容</p> <p>一 医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。</p> <p>二 東北大学病院(以下「本院」という。)の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。</p> <p>三 本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。</p> <p>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</p> <p>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 (参照：<a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html</a>)</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無			
<p>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</p> <p>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</p> <p>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</p> <p>・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で委員名簿等を公表している。 (参照：<a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.html</a>)</p>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
大野 英男	東北大学総長	○	国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第1号によるもの	有
青木 孝文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有

滝澤 博胤	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
小谷 元子	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
植木 俊哉	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
牛尾 則文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第2号によるもの	有
安藤 健二郎	仙台市医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	無
上之原 広司	国立病院機構仙台医療センター院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第3号によるもの	無
八重樫 伸生	東北大学医学系研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
高橋 信博	東北大学歯学研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有
川島 隆太	東北大学加齢医学研究所長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第3条第1項第4号によるもの	有

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</li> <li>・公表の方法</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富永 悌二	○	医師	病院長
江草 宏		歯科医師	総括副病院長
亀井 尚		医師	副病院長
張替 秀郎		医師	副病院長
石岡 千加史		医師	副病院長
齋藤 正寛		歯科医師	副病院長
飯久保 正弘		歯科医師	副病院長
鈴木 由美		看護師	副病院長
藤森 研司		医師	病院長特別補佐
田畑 雅央		医師	病院長特別補佐
大田 英揮		医師	病院長特別補佐
高野 忠夫		医師	病院長特別補佐
中川 敦寛		医師	病院長特別補佐

三 瓶 綾 子		研究員	病院長特別補佐
植 田 琢 也		医師	病院長特別補佐
庄 司 貞 雄		研究員	病院長特別補佐
平 野 雅 春		医師	病院長特別補佐
安 田 聡		医師	循環器内科長
徳 田 浩 一		医師	総合感染症科長
田 中 哲 洋		医師	腎・高血圧・内分泌科長
藤 井 博 司		医師	リウマチ膠原病内科長
片 桐 秀 樹		医師	糖尿病代謝科長
正 宗 淳		医師	消化器内科長
中 瀬 泰 然		医師	加齢・老年病科長
福 土 審		医師	心療内科長
杉 浦 久 敏		医師	呼吸器内科長
海 野 倫 明		医師	総合外科長
大 沼 忍		医師	総合外科長
石 田 孝 宣		医師	総合外科長
和 田 基		医師	総合外科長
齋 木 佳 克		医師	心臓血管外科長
相 澤 俊 峰		医師	整形外科長
今 井 啓 道		医師	形成外科長
山 内 正 憲		医師	麻酔科長
井 上 彰		医師	緩和医療科長
岡 田 克 典		医師	呼吸器外科長
久志本 成 樹		医師	救急科長
島 田 宗 昭		医師	婦人科長
齋 藤 昌 利		医師	産科長
伊 藤 明 宏		医師	泌尿器科長
青 木 正 志		医師	脳神経内科長
富 田 博 秋		医師	精神科長
菊 池 敦 生		医師	小児科長
青 木 洋 子		医師	遺伝科長

笹原洋二		医師	小児腫瘍科長
浅野善英		医師	皮膚科長
中澤徹		医師	眼科長
香取幸夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科長
出江紳一		医師	肢体不自由リハ科長
中里信和		医師	てんかん科長
海老原寛		医師	内部障害リハ科長
鈴木匡子		医師	高次脳機能障害科長
神宮啓一		医師	放射線治療科長
高瀬圭		医師	放射線診断科長
山田亜矢		歯科医師	小児歯科長
溝口到		歯科医師	矯正歯科長
山内健介		歯科医師	歯科顎口腔外科長
杉浦剛		歯科医師	歯科顎口腔外科長
水田健太郎		歯科医師	歯科麻酔疼痛管理科長
山田聡		歯科医師	歯周病科長
服部佳功		歯科医師	口腔機能回復科長
江島豊		医師	材料部長
鈴木責		医師	病理部長
八重樫伸生		医師	周産母子センター長
石井正		医師	総合地域医療教育支援部長
菊池雅彦		歯科医師	総合歯科診療部長
五十嵐薫		歯科医師	顎口腔機能治療部長
小山重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部長
眞野成康		薬剤師	薬剤部長
藤巻慎一		臨床検査技師	診療技術部長
小山田享史		事務職員	事務部長
服部佳功		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒澤一		医師	安全衛生管理室長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  一部有  無 ）
  - ・ 公表の方法  
病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。  
病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。
- ・ 規程の主な内容  
「東北大学会計規程」においては、部局長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。  
「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」では、病院長が総括副病院長及び副病院長候補者を指名し、総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は、病院長が任命することを定めている。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
本院では、歯科部門の責任者として総括副病院長を1名置き、医科部門の副病院長3名、歯科部門の副病院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を22名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 医療安全管理に係る体制</li> <li>ロ 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況</li> <li>ハ 医療安全推進室の業務の状況</li> <li>ニ 医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況</li> <li>ホ その他医療安全管理に関して必要な事項</li> </ul> </li> <li>・必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</li> <li>・その結果を公表すること。</li> </ul> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・公表の方法：東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
阿部 玲子	東北公済病院看護部		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
佐藤 裕一	弁護士法人杜協同法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・無	2
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。

また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講じることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。

・ 専門部署の設置の有無（  有 ・  無 ）

・ 内部規程の整備の有無（  有 ・  無 ）

・ 内部規程の公表の有無（  一部有 ・  無 ）

・ 公表の方法

国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集

([http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki\\_taikei/r\\_taikei\\_01.html](http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html))にてweb公開されている。



規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況            平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。            この会議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年2回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年2回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
安藤 健二郎	仙台市医師会長	○	無
上之原 広司	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター		無
原田 善教	学校法人東北学院理事長		無
一力 雅彦	河北新報社代表取締役社長		無
大山 健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		無
樋口 康二郎	東北電力株式会社取締役社長		無
小林 英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		無
深澤 ひとみ	プルデンシャル・ファイナンシャル・インク 日本駐在員事務所 Chief of staff to the CEO of PFI's Japan Insurance Operations		無

伊藤 直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有
郷内 淳子	有限会社ティー・ジー		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法</li></ul> <p>窓口が設置された平成28年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。また、毎年4月初めに開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布し、医療安全に関するオリエンテーション内でも周知している。</p>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。</p> <p>また、病院広報誌やwebマガジン、メールマガジンを定期的に発行するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みや市民の健康に役立つ情報について紹介している。さらに、地域の小中高生を対象とした病院見学会などのイベントも開催している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>本院ではがんセンターや小児医療センターなど、関連する複数の診療科からなる組織を設置し、患者に対し、効率的かつ安全で高度な治療を行える診療体制を整備している。</p> <p>また、平成29年度には個別化医療センターを設置し、複数診療科体制で、血液検体や組織検体を採取し、がんゲノム医療をはじめとする未来型医療を邁進している。</p>	